

## 第二編 第七章 農地整備課

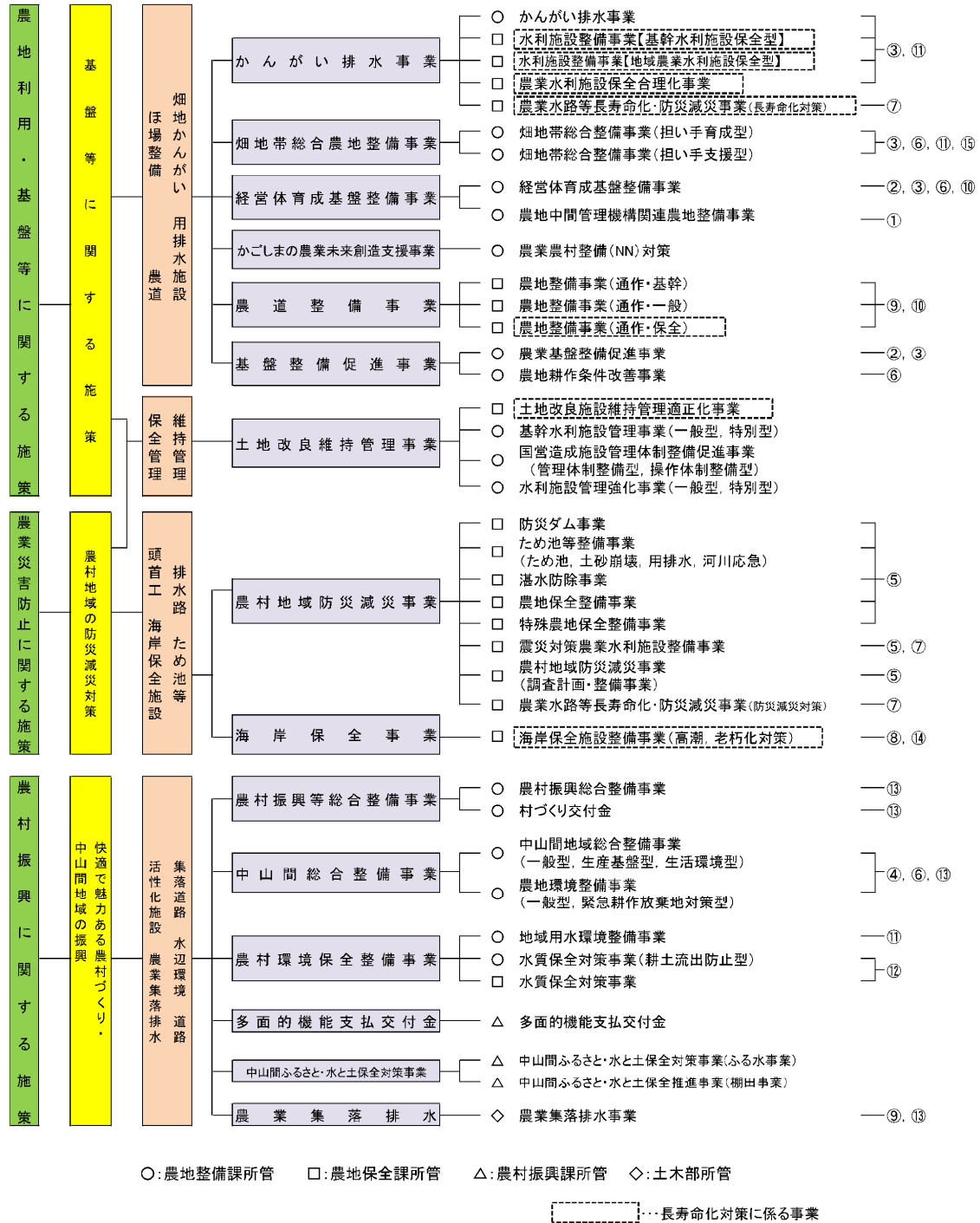
### ■ 令和4年度事業 県営農地環境整備事業

#### 熊野地区 4-1 工区 着工前 完成 写真



# I 令和4年度 鹿児島県 農業農村整備事業の施策体系

鹿児島県における農業農村整備事業の施策体系と国の主な事業の関連は次のとおりである。



◆国の主な事業名(右側に番号で表示)

- ①農業競争力強化基盤整備事業(農地中間管理機構関連農地整備事業)
- ②農業競争力強化基盤整備事業(農業競争力強化農地整備事業)
- ③農業競争力強化基盤整備事業(水利施設等保全高度化事業)
- ④中山間地域農業農村総合整備事業
- ⑤農村地域防災減災事業
- ⑥農地耕作条件改善事業
- ⑦農業水路等長寿命化・防災減災事業
- ⑧海岸事業
- ⑨農村整備事業
- ⑩農山漁村地域整備交付金(農地整備)
- ⑪農山漁村地域整備交付金(水利施設整備)
- ⑫農山漁村地域整備交付金(農地防災)
- ⑬農山漁村地域整備交付金(農村整備)
- ⑭農山漁村地域整備交付金(海岸保全施設整備事業)
- ⑮畑作等促進整備事業

## Ⅱ 令和4年度当初予算の状況

農地整備課の令和4年度当初予算は次のとおりで、令和3年度の151億23百万円から9億79百万円（約6.5%）減少し、141億44百万円となっている。

土地改良諸費が12億87百万円から3億95百万円に8億92百万円大きく減少しているが、令和4年度は市町村の償還がなかったこと及び県負担の償還対象地区が1地区終了したことによるものである。

事業としては事業費の大きい「畑地帯総合農地整備事業（公共）」が82億23百万円から80億24百万円に約2億円（約2.4%）減少、「経営体育成基盤整備事業（公共）」が15億23百万円から21億6百万円に5億83百万円（約38.3%）増加、「県営中山間総合整備事業（公共）」が19億7百万円から15億64百万円に3億42百万円（約18.0%）減少しているのが大きな増減となっている。

（単位：千円）

項	区分	事業名	R4 当初	R3 当初	増減
	農地費 農地総務費	職員給与関係費	4,615	4,385	230
1	〃	土地改良諸費	395,141	1,287,523	△892,382
2	〃	県営土地改良事業換地清算金	0	8,396	△8,396
	農地費 農地改良費	職員給与関係費 (支弁人件費)	1,302,529 △405,947	1,310,416 △411,032	△7,887 5,085
3	〃	県営中山間総合整備事業（公共）	1,564,838	1,907,780	△342,942
4	〃	県営農村振興等総合整備事業（公共）	74,000	78,440	△4,440
5	〃	経営体育成促進事業（事務雑費）（公共）	4,000	4,000	0
6	〃	畑地帯総合農地整備事業（公共）	8,024,963	8,223,205	△198,242
7	〃	農村環境保全整備事業（公共）	84,800	140,000	△55,200
8	〃	経営体育成基盤整備事業（公共）	2,106,442	1,523,079	583,363
9	〃	経営体育成促進事業（工事費）（公共）	150	500	△350
10	〃	団体営農村振興総合整備等統合補助事業（公共）	24,151	12,577	11,574
11	〃	団体営中山間総合整備事業（公共）	46,000	52,000	△6,000
12	〃	団体営基盤整備促進事業（公共）	382,761	443,469	△60,708
13	〃	団体営土地改良施設維持管理事業（公共）	396,357	397,938	△1,581
14	〃	土地改良基本調査事業	868	868	0
15	〃	国営事業負担金（公共）	138,624	140,400	△1,776
農地整備課計			14,144,292	15,123,944	△979,652

以下、上表のとおり農地整備課の主要な事業である農地費 農地改良費の「県営中山間総合整備事業（公共）15億64百万円」、「畑地帯総合農地整備事業（公共）80億24百万円」、「経営体育成基盤整備事業（公共）21億6百万円」について、事業内容及び財務事務の執行等の検討を行う。

### Ⅲ 主要事業の県内地域別状況

#### 【表中 番号 3 県営中山間総合整備事業(公共)】の県内地域別令和4年度予算の状況

県営中山間総合整備事業(公共) 令和4年度当初予算における鹿児島県の地域別状況の委託料、工事請負費及び負担金、補助、交付金の発生状況は次のとおりである。

区分	R4 当初予算	本庁	鹿児島	南薩	北薩	始良・伊佐	大隅	曾於	熊毛	屋久島	大島	喜界	徳之島	沖永良部	金額単位：千円	
12 委託料	362,366	0	32,250	2,537	7,610	14,857	39,498	0	138,061	61,240	42,397	0	4,711	19,205		
14 工事請負費	1,083,000		99,636	7,581	0	45,486	122,379	0	427,785	189,525	131,043	0	0	59,565		
18 負担金、補助、交付金																
1 負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
2 補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
3 交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
小計	1,445,366	0	131,886	10,118	7,610	60,343	161,877	0	565,846	250,765	173,440	0	4,711	78,770		
その他	119,472	0	7,539	482	25,390	3,647	8,863	0	31,124	13,320	9,568	0	15,289	4,250		
合計	1,564,838	0	139,425	10,600	33,000	63,990	170,740	0	596,970	264,085	183,008	0	20,000	83,020		

令和4年度当初予算「県営中山間総合整備事業(公共)」15億64百万円のうち、工事請負費が10億83百万円、委託料が3億62百万円となっている。

委託料では熊毛地区の1億38百万円、工事請負費では同様に熊毛地区の4億27百万円、屋久島地区の1億89百万円が大きく、大島地区の1億31百万円、大隅地区の1億22百万円と続いている。

【表中 番号 6 畑地帯総合農地整備事業(公共)】の県内地域別令和4年度予算の状況

畑地帯総合農地整備事業(公共) 令和4年度当初予算における鹿児島県の地域別状況の委託料、工事請負費及び負担金、補助、交付金の発生状況は次のとおりである。

(金額単位：千円)

区分	R4 当初予算	本庁	鹿児島	南薩	北薩	姶良・ 伊佐	大隅	曾於	熊毛	屋久島	大島	喜界	徳之島	沖永良部
12 委託料	912,854	9,200	59,243	110,997	34,188	18,681	101,498	98,675	6,094	15,196	20,479	60,635	223,470	154,498
14 工事請負費	6,570,000	0	337,897	790,646	98,951	62,747	744,307	836,654	44,940	126,934	88,167	433,024	1,867,116	1,138,617
18 負担金、補助、交付金														
1 負担金	10,480	0	9,480	0	0	0	0	0	0	1,000	0	0	0	0
2 補助金	18,500	15,000	1,500	0	2,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 交付金	5,000	5,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	7,516,834	29,200	408,120	901,643	135,139	81,428	845,805	935,329	51,034	143,130	108,646	493,659	2,090,586	1,293,115
その他	508,129	7,700	23,271	68,484	13,577	6,854	68,710	51,381	17,760	6,795	9,915	47,593	116,164	69,925
合計	8,024,963	36,900	431,391	970,127	148,716	88,282	914,515	986,710	68,794	149,925	118,561	541,252	2,206,750	1,363,040

令和4年度当初予算「畑地帯総合農地整備事業(公共)」80億24百万円のうち、工事請負費が65億70百万円、委託料が9億12百万円となっている。

委託料では徳之島地区の2億23百万円、工事請負費では同様に徳之島地区の18億67百万円、沖永良部地区の11億38百万円が大きく、曾於地区の8億36百万円、大隅地区の7億44百万円と続いている。

なお、補助金は本庁で15百万円、負担金は鹿児島地区で9百万円が発生している。

【表中 番号8 経営体育成基盤整備事業(公共)】の県内地域別令和4年度予算の状況

経営体育成基盤整備事業(公共) 令和4年度当初予算における鹿児島県の地域別状況の委託料、工事請負費及び負担金、補助、交付金の発生状況は次のとおりである。

(金額単位：千円)

区分	R4 当初予算	本庁	鹿児島	南薩	北薩	始良・伊佐	大隅	曾於	熊毛	屋久島	大島	喜界	徳之島	沖永良部
12 委託料	428,432	0	20,136	5,570	31,704	90,828	250,204	0	29,990	0	0	0	0	0
14 工事請負費	1,529,000	0	71,863	18,348	113,146	325,677	894,465	0	105,501	0	0	0	0	0
18 負担金、補助、交付金														
1 負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 補助金	9,520	0	0	6,000	0	1,680	0	0	1,840	0	0	0	0	0
3 交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	1,966,952	0	91,999	29,918	144,850	418,185	1,144,669	0	137,331	0	0	0	0	0
その他	139,490	0	6,675	△2,238	11,420	29,419	84,787	0	9,427	0	0	0	0	0
合計	2,106,442	0	98,674	27,680	156,270	447,604	1,229,456	0	146,758	0	0	0	0	0

令和4年度当初予算「経営体育成基盤整備事業(公共)」21億6百万円のうち、工事請負費が15億29百万円、委託料が4億28百万円となっている。

委託料では大隅地区の2億50百万円、工事請負費では同様に大隅地区の8億94百万円、始良・伊佐地区の3億25百万円が大きく、両地区で全体の約8割を占めている。屋久島地区及び奄美地域では予算が発生していない。

## IV 抽出による委託契約、請負契約等の検討

(注) 以下、内容は「工事費・補助事業・委託料調べ」等である「令和5年度定期監査調書別冊」全地域分を入手し、その中からIVの表等を参考にして抽出した契約等を該地域に依頼し、提出一連資料に基づいて事業実施状況等の内容を検討したものである。  
 なお、農地整備課においては、「大隅地域振興局」及び「大島支庁」（奄美大島）に往査し、現地の工事等の状況視察を実施している。

### IV-1 県営中山間総合整備事業(公共)【農地改良費】

委託費 熊毛支庁 当初予算 138,061 千円

◆【抽出契約等】 煌耀南種子地区委託 4-1 23,210 千円

令和 4.7.5～5.3.22

○煌耀南種子地区整備計画の概要	
・事業年度：	令和3年度から令和11年度
・全体概算事業量：	1,461,000 千円
・全体工事内容：	工事量 ほ場整備 5.6 ha 農業用排水 5,360 m 農道 8,715 m 農地防災 230 m
・令和4年度：	事業費 83,020 千円 工事量 工事実施なし 当年度は、農道、農業用排水の測量設計を実施した。 ※提出した書類の工区は、その中の農業用排水の測量設計委託
・令和5年度から	工事を実施予定

●令和4年6月14日 「入札契約手続運営委員会」

設計額 26,070,000 円 排水路測量設計用地調査 L=690m

●令和4年6月30日 入札執行調書（抜粋）

設計額、予定価格：26,070 千円(入札書比較価格：23,700 千円)、最低制限価格：21,283 千円

順位	入札者氏名	入札価格(円) 第1回金額	入札書比較価格に対する比較(円)
1	A (鹿児島市)	19,348,400	△4,351,600
1	B (鹿児島市)	19,348,400	△4,351,600
1	C (鹿児島市)	19,348,400	△4,351,600
1	D (鹿児島市)	19,348,400	△4,351,600
1	E (鹿児島市)	19,348,400	△4,351,600
1	F (鹿児島市)	19,348,400	△4,351,600
1	G (霧島市)	19,348,400	△4,351,600
1	H (鹿児島市)	19,348,400	△4,351,600
1	I (鹿児島市)	19,348,400	△4,351,600
1	J (鹿児島市)	19,348,400	△4,351,600
1	K (志布志市)	19,348,400	△4,351,600
1	L (鹿児島市)	19,348,400	△4,351,600

(注) 会社の所在地は、鹿児島市10社、霧島市1社、志布志市1社  
 電子入札であり、入札受付は6月28日16:37:08～6月29日19:06:14であった。

上表のように、全社が最低制限価格金額での入札となり、入札受付順位5番目のAが「抽選による落札」（落札率は約81.64%）となっている。

[入札状況について]

入札価格が同額になることはあると思われるが、12 社全社が最低制限価格というのは、やはり想定された入札結果とは異なる状況ではないかと考える。

また、全社が、最低制限価格で受注してもなお相応の利益があると考えていることになる。

電子抽選による落札ということだけではなくて、全社が最低制限価格という状況について考えられる理由（原因）を記録しておくのが、今後の入札対応資料としても有用ではないかと考える。

なお、このことについては、県は業界団体との意見交換の機会に原因（積算能力が向上している、受注競争が激しく最低制限価格での入札を行っている）について聴いており、さらに、入札が成立しなかった場合は、全社に原因の聴き取り調査を行った上で「辞退理由等聴き取り結果」に整理しているとの説明であった。

【参考】最低制限価格（一般競争入札において最低価格の入札者以外の者を落札者とすることができる場合）  
第百六十七条の十

2 普通地方公共団体の長は、一般競争入札により工事又は製造その他についての請負の契約を締結しようとする場合において、当該契約の内容に適合した履行を確保するため特に必要があると認めるときは、あらかじめ最低制限価格を設けて、予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって申込みをした者を落札者とせず、予定価格の制限の範囲内の価格で最低制限価格以上の価格をもって申込みをした者のうち最低の価格をもって申込みをした者を落札者とすることができる。

●令和4年7月5日 「設計業務等委託契約書」

受注者 A 発注者 熊毛支庁長

履行期間 令和4年7月6日～令和5年2月15日 225日

業務委託料 21,283,240円（税抜19,348,400円） 契約保証金 2,128,324円

●令和5年1月30日起案 委託設計変更執行伺書

「変更理由書」

1 用地測量	・現地の地形状況を考慮し、用地買収対象地を変更したため
2 設計業務	・排水路の起点部が約30%急勾配であり、また当該範囲は防砂指定地 <sup>1</sup> となっており、急流工としての設計が必要となったため ・急流部の設計にあたり、当該設計に係る地権者に、地元説明会とは別に個別説明が必要となり、その事前打ち合わせと説明を行うため

●令和5年2月9日 「設計業務等委託変更契約書」

変更後委託料：23,210,000円（増額1,926,760円）

●令和5年3月22日 「業務完了届」、「検査調書」（検印有）、「成果物引受書」

●令和5年3月27日 「支出命令票」 支払日：令和5年4月10日

<sup>1</sup> 砂防法（明治30年3月30日法律第29号）第2条に基づき、砂防設備を要する土地又は治水上砂防のために一定の行為を禁止し若しくは制限すべき土地として国土交通大臣が指定した土地の区域



## IV-2 県営中山間総合整備事業(公共)【農地改良費】

工事請負費 熊毛支庁 当初予算 427,785 千円

◆【抽出契約等】熊野地区 4-1 工区 事業費 54,011 千円 令和 4.8.15～5.3.28

○熊野地区整備計画の概要	
・事業年度：平成 29 年度から令和 7 年度（計 9 年度）	
・全体概算事業費：528,000 千円	
・全体工事内容：工事量 ほ場整備 10.5 ha	
	鳥獣害侵入防止柵 2,800 m
・令和 4 年度：事業費 100,211 千円	
	工事量 ほ場整備 0.8 ha
	鳥獣害侵入防止柵 2,800 m
	※提出書類の工区は、その中のほ場整備
・令和 5 年度から 残工事量はないが、地区内整備工及び換地処分に係る業務を実施予定	

令和 4 年度は、ほ場整備 0.8ha、鳥獣害侵入防止柵 2,800m となっている。

### ●令和 4 年 7 月 19 日 「入札契約手続運営委員会」

工事名	県営中山間地域農業農村総合整備事業 熊野地区 4-1 工区
工事場所	熊毛郡中種子町坂井地内
工期	令和 5 年 3 月 17 日限り
発注業種	土木一式工事 格付業種：土木一式工事 基準格付：A
工事概要	設計額（税込み）：47,993,000 円 施工 0.32ha

### ●令和 4 年 8 月 4 日 入札執行調書（抜粋）

設計額、予定価格：47,993 千円(入札書比較価格：43,630 千円)、最低制限価格：43,914 千円

順位	入札者氏名	入札価格(千円)	入札書比較価格に対する比較
1	A (熊毛郡)	43,600	△30
2	B (熊毛郡)	43,780	150
3	C (熊毛郡)	43,800	170
4	D (西之表市)	44,000	370
5	E (西之表市)	44,190	560
6	F (熊毛郡)	44,280	650
6	G (西之表市)	44,280	650
6	H (西之表市)	44,280	650
9	I (熊毛郡)	44,310	680
辞退	J (西之表市)		
不参加	K (熊毛郡)		

●令和4年8月12日 「建設工事請負契約書」

事業名	県営中山間地域農業農村総合整備事業 熊野地区 4-1 工区
事業所	熊毛郡中種子町坂井地内
工期	自令和4年8月15日 至令和5年3月17日
請負代金額	47,960,000 円
契約担当者	熊毛支庁長
請負者	A (熊毛郡)

●令和5年3月16日決裁 「工事設計変更執行伺書」 増額 6,051,000 円  
変更後：54,011,000 円

変更理由書

排水路工	排水路とほ場の段差が高く、法長が長くなり管理に支障を来すため、落差工により、水路高を調整したい。また、山からの水が多いため、湧水処理工及びアンダードレンを追加したい。
湧水処理工	山からの湧水が多いため、湧水処理工を追加したい。
安全施設工	T字交差点箇所に車両転落防止用のガードレールを設置したい。
仮設工	ゲート躯体工及びゲート据付時に、水替えが必要となったため、追加したい。(常時排水 10 日間)
鋼製ゲート	次年度以降の施工としていたが、他地区との予算調整により施工可能となったため、今年度施工し、事業の早期効果発現を図りたい。
準備工	準備工により発生した伐採材について、適正に産業廃棄物処理を行いたい。

●令和5年3月29日 「検査調書」、「工事目的物引受書」

●令和5年3月31日 「令和04年度 工事台帳 (契約別・県営事業)  
支払済額計 54,011,000 円

●令和5年3月29日決裁「支出命令票」(今回請求額 34,831,000 円) 支払日：4月12日

## IV-3 県営中山間総合整備事業(公共)【農地改良費】

工事請負費 屋久島事務所 当初予算 189,525 千円

◆【抽出契約等】 屋久地区 3-3 工区 事業費 49,371 千円 3.10.1~4.10.25

当該事業概況は次のとおりである。

令和5年10月11日 熊毛支庁屋久島事務所農林普及課	
県営中山間地域総合整備事業 屋久地区 整備計画	
1	事業年度 平成28年度～令和7年度
2	全体事業費 1,699,100 千円 (令和5年度当初時点)
3	<p>屋久地区全体工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業用排水(畑地かんがい) 86.5ha【5団地】 (永久保団地, 松峯団地, 春牧団地, 平野団地, 中間団地)</li> <li>・農道 820.0m【3路線】</li> <li>・その他改良保全(鳥獣害防止柵) 9,080.0m【2団地】</li> <li>・集落道路 746.0m【2路線】</li> <li>・集落排水 240.0m【1路線】</li> <li>・測量設計一式</li> <li>・用地補償費一式</li> </ul>
4	<p>令和3年度事業費及び工事内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費 255,684千円</li> <li>・工事内容 永久保畑地かんがい整備工, 尾之間農道工</li> </ul>
5	<p>対象工区</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工区名 3-3工区</li> <li>・工事箇所 熊毛郡屋久島町船行地内</li> <li>・工期 R3.10.1~R4.10.20</li> <li>・工事費 49,371,000円</li> <li>・工事内容 永久保畑地かんがいの支線配水路 VPφ100~75 L=730.9m, 末端散水施設 2.67ha(12筆)</li> </ul>
6	<p>永久保畑地かんがい(以下、「永久保畑かん」)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・永久保畑かんに関する工事は別添1及び別添2のとおり</li> <li>・3-3工区は永久保畑かん整備の一環として実施したものである。</li> <li>・平成29年度から整備を開始し, 令和4年度(令和3年度繰越)に完了</li> </ul>

屋久地区の県営中山間地域総合整備事業であり、事業年度は平成28年度～令和7年度、全体事業費は16億99百万円となっている。

R5.10.10

## 県営中山間地域総合整備事業 屋久地区 永久保畑地かんがい関係工区一覧

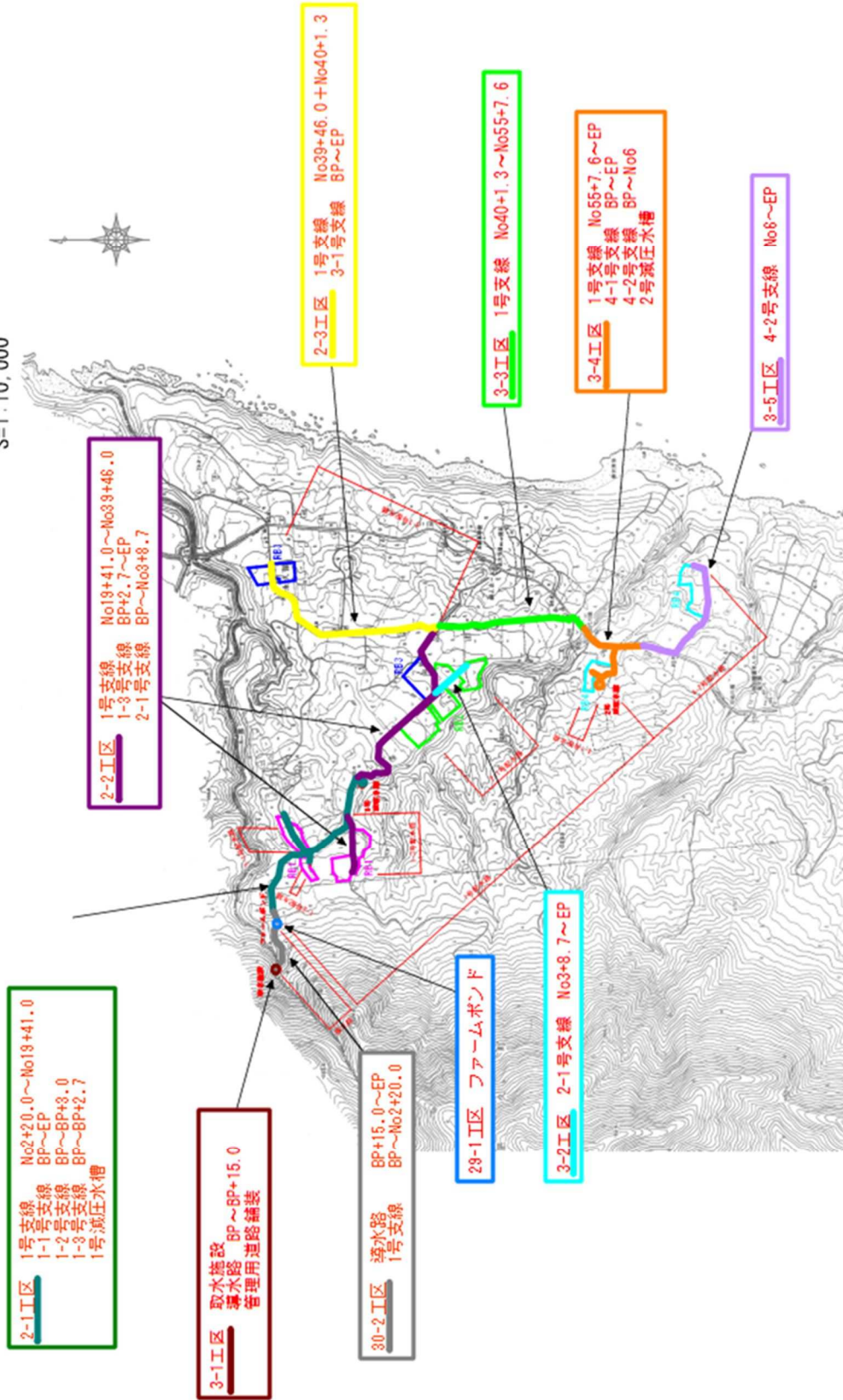
工区名	工事費（単位：円）	内容
29-1工区	42,270,000	ファームpond
30-2工区	15,248,346	導水路, 1号支線
2-1工区	37,966,000	1号支線, 1-1号支線, 1-2号支線, 1-3号支線1, 1号減圧水槽
2-2工区	37,500,000	1号支線, 1-3号支線, 2-1号支線
2-3工区	36,910,000	1号支線, 3-1号支線
3-1工区	31,115,506	取水施設, 導水路, 管理道路
3-2工区	44,060,000	2-1号支線
3-3工区	49,371,000	1号支線
3-4工区	47,732,000	1号支線, 4-1号支線, 4-2号支線, 2号減圧水槽
3-5工区	43,806,000	4-2号支線
計	385,978,852	

## 県営中山間地域総合整備事業 屋久地区 永久保畑地かんがい 施工実績

施設名	測点	実施数量		工区名
		管路以外	管路 (m)	
取水施設		1 箇所		3-1工区
導水路	BP+15.0~EP		181.0	30-2工区
導水路	BP~BP+15.0		15.0	3-1工区
ファームpond		1 箇所		29-1工区
1号支線	BP~No2+20.0		95.0	30-2工区
	No2+20.0~No19+41.0		850.7	2-1工区
	No19+41.0~No39+46.0		1,003.4	2-2工区
	No39+46.0~No40+1.3		5.3	2-3工区
	No40+1.3~No55+7.6		730.9	3-3工区
	No55+7.6~EP		397.0	3-4工区
1-1号支線	BP~EP		225.7	2-1工区
1-2号支線	BP~BP+3.0		3.0	2-1工区
1-3号支線	BP~BP+2.7		2.7	2-1工区
	BP+2.7~EP		298.9	2-2工区
2-1号支線	BP~No3+8.7		158.7	2-2工区
	No3+8.7~EP		196.2	3-2工区
3-1号支線	BP~EP		1,031.0	2-3工区
4-1号支線	BP~EP		63.0	3-4工区
4-2号支線	BP~No6		307.0	3-4工区
	No6~EP		702.0	3-5工区
1号減圧水槽		1 箇所		2-1工区
2号減圧水槽		1 箇所		3-4工区
管理道路		497.9m		3-1工区
計			6,070.5	

県営中山間地域総合整備事業 屋久地区 位置図

S=1:10,000



●令和3年9月1日 「入札契約手続運営委員会」

●令和3年9月24日 「入札執行調書」(抜粋)

設計額、予定価格：39,468千円(入札書比較価格：35,880千円)、最低制限価格：36,265千円

順位	入札者氏名	入札価格(千円)	入札書比較価格に対する比較
1	A (熊本郡屋久島町)	35,200	△680
2	B (熊本郡屋久島町)	35,500	△380
3	C (熊本郡屋久島町)	35,600	△280
4	D (鹿児島市)	35,790	△90
5	E (熊本郡屋久島町)	35,800	△80
6	F (鹿児島市)	35,980	100
辞退	G (鹿児島市)		
辞退	H (西之表市)		
辞退	I (熊本郡屋久島町)		
辞退	J (熊本郡屋久島町)		
辞退	K (熊本郡屋久島町)		
辞退	L (熊本郡屋久島町)		
辞退	M (熊本郡屋久島町)		
辞退	N (熊本郡屋久島町)		
辞退	O (熊本郡屋久島町)		
辞退	P (熊本郡屋久島町)		

(注) 入札は令和3年9月24日に実施されている。

「指名競争入札参加者指名決定業者名簿」によると16業者が選定され実施された電子入札であり、16社のうち島内事業者8社を含む10社が辞退という状況であるが、うち2社は「分割発注他工区落札のため辞退」との記載があるため、半分の8社が辞退ということになると思われる。

ただ、前述の会議要旨に記載のあるとおり、同日に6工区分の業者が決まることから、他工区の受注を考慮すると倍率としては高くはない。

#### [入札状況について]

これについては、業者が手持ち工事等を考慮して辞退することはあり得ることであり、2社以上応札すれば入札は成立し、辞退理由の聴き取りも行わないため、理由(原因)の記載は行わないとのことであるが、業界団体との意見交換の機会に原因(人員不足等)について聴いており、さらに、入札が成立しなかった場合は、全社に原因の聴き取り調査を行った上で「辞退理由等聴き取り結果」に整理しているとの説明であった。

#### 入札執行結果表(抜粋)

執行事務所 屋久島事務所 農林普及課

工事名	県営中山間地域総合整備事業 屋久地区 3-3 工区
工事場所	熊本郡屋久町船行地内
入札額	35,200千円
契約金額(予定)	38,720千円
契約保証額(予定)	3,872千円
当初契約工期	着工年月日：令和3年9月30日 完成予定日：令和4年3月15日 166日間

●令和3年9月30日 「建設工事請負契約書」

工期：自令和3年10月1日 至令和4年3月15日 166日間

請負代金額：38,720,000円

●令和4年3月10日起案 「工事設計変更執行伺書」

変更理由書(抜粋)

土工	県道埋設に伴い試掘を行ったところ、当初想定していた舗装構成に相違があったことから、管理者である県建設課と協議を行った結果、現況の舗装構成に復旧する旨の回答があったことから、埋設深及び土工断面の変更を行いたい。 また、上記理由に伴い、基層As(5cm)の追加施工を行いたい。
末端排水施設	当初左記数量での整備予定であったが、 <u>事業効果早期発現のため</u> 、左記のとおり追加したい。 ※末端散水施設 (8.000) 12.000筆

●令和4年3月11日 「建設工事請負変更契約書」

変更後請負契約金額：48,486,000円(うち消費税4,407,818円)

今回変更完成期限：令和4年10月10日

●令和4年10月7日 「建設工事請負変更契約書」増額885,000円

変更後請負契約金額：49,371,000円(うち消費税4,488,272円)

今回変更完成期限：令和4年10月20日

変更理由書(抜粋)

配管工 (1号排水路)	支線配管工の数量について、 <u>着工前測量の結果</u> に基づき、左記のとおり変更したい。 ※減
舗装復旧工 (県道)	基層について、当初、密粒度Asと想定していたが、試掘の結果により、粗粒度Asに変更したい。また、実施数量については、 <u>着工前測量の結果</u> に基づき、左記のとおり変更したい。
建設廃棄物	舗装版切断については、当初、左右の数量を計上していたが、着工前測量の結果、道路左端に埋設が可能であり、左側の切断が不要になったことから、左記のとおり切断延長を減としたい。
末端散水施設	園内スプリンクラーの本数について、着工前測量の結果、ほ場での当初の本数ではほ場全体をかん水できないことが判明したため、適正本数に変更したい。 ※(21.000) 28.000

●令和4年10月25日「検査調書」検査合格

●令和4年10月27日起票 「支出命令票」 支払日：令和4年11月10日

IV-4 畑地帯総合農地整備事業(公共)【農地改良費】

委託費 徳之島事務所 当初予算 223,470千円

◆【抽出契約等】第二南亀地区委託 4-1ほか 事業費 9,839千円 4.10.19~5.2.27

●令和4年9月28日 「入札契約手続運営委員会」

工事名	畑地帯総合整備事業(担い手支援型、一般)第二南亀地区 委託4-1ほか
工事場所	大島郡徳之島町 亀津地内外
工期	令和5年2月28日限り
発注業種	その他
工事概要	設計額(税込み)：8,349,000円 畑地かんがい施設管理図作成業務一式

指名推薦業者

許可番号	商号・名称	営業所所在地
51600	鹿児島県土地改良事業団体連合会	鹿児島県鹿児島市

- 令和4年9月30日 予定価格調書 8,349,000 円（入札(見積)書比較価格) 7,590,000 円  
 契約担当者：大島支庁長、取扱者：大島支庁徳之島事務所農村整備課長

- 令和4年10月19日 「設計業務等委託契約書」  
 受注者：鹿児島県土地改良事業団体連合会(鹿児島市)、業務委託料：8,030,000 円  
 履行期間：令和4年10月19日～令和5年2月28日

【地区按分表】

畑地帯総合整備事業(担い手支援型、一般)第二南亀地区 委託 4-1 ほか(畑地かんがい施設管理図作成業務)

単位：円

地区名	当初						
	設計額	うち消費税	契約額	うち消費税	前金払い	前金割合	支払額
第一尾母1期地区 委託 4-1	683,000	62,091	657,000	59,728	196,000	29.8%	461,000
第一尾母2期地区 委託 4-3	726,000	66,000	698,000	63,455	209,000	29.9%	489,000
...							
第二南亀地区 委託 4-1	1,459,000	132,637	1,403,000	127,546	419,000	29.9%	984,000
...							
合計	8,349,000	759,000	8,030,000	730,006	2,400,000	29.9%	5,630,000

※地区は 11 地区に区分されている。

- 令和4年10月19日 決裁 「支出負担行為票」 支出負担行為額 8,030,000 円  
 契約区分：随意契約(一者) 納入・履行期限 令和5年2月28日

- 令和4年10月19日 「監督職員指定書」「監督職員選任通知書」  
 整備係長、農業土木技師の2人

- 令和5年1月11日 「設計業務等変更委託契約書」  
 第1回変更契約金額増額 1,809,000 円、変更後業務委託金額：9,839,000 円

【変更理由書】

本業務は、畑地かんがい施設管理図作成業務であるが、畑かんの同意状況データが未整備であり、畑かん推進への活用は対応していなかった。今後畑かんの推進にあたっては、同意状況の把握、整備は必須であることから、発注後に受注者と協議を行った結果、システム改良で対応可能ということであったため、今回直近までの整備状況及び同意状況を整理し、今後の畑かん推進及び整備状況把握に活用できるシステムを構築したい。

- 令和5年2月27日 鹿児島県土地改良事業団体連合会から大島支庁に「業務完了届」が提出されている。

- 令和5年3月1日 「検査調書」、検査合格、「成果物引渡書」提出

- 令和5年3月6日決裁 「支出命令票」 支払日：令和5年3月20日



## IV-5 畑地帯総合農地整備事業(公共)【農地改良費】

工事請負費 徳之島事務所 当初予算 1,867,116 千円

◆【抽出契約等】 第一尾母 2 期地区 4-2 工区 事業費 46,834 千円 4.9.21~5.3.30

## ●令和 4 年 8 月 30 日 「入札契約手続運営委員会」

工事名	畑地帯総合整備事業(担い手支援型、一般) 第一尾母 2 期地区 4-2 工区
工事場所	大島郡徳之島町 亀津地内外
工期	令和 5 年 3 月 17 日限り
発注業種	土木一式工事
工事概要	設計額(税込み): 48,972,000 円 畑地かんがい(パイプライン) L=1,590m

指名推薦業者等級 A10 社が選定されている。

## ●令和 4 年 9 月 14 日 入札執行調書(抜粋)

設計額、予定価格: 48,972 千円(入札書比較価格: 44,520 千円)、最低制限価格: 44,925(40,841)千円

順位	入札者氏名	入札価格(千円)	入札書比較価格に対する比較
1	A (大島郡徳之島町)	44,000	△520
2	B (大島郡伊仙町)	44,300	△220
3	C (大島郡徳之島町)	44,350	△170
4	D (大島郡天城町)	44,450	△70
5	E (大島郡天城町)	44,500	△20
6	F (大島郡伊仙町)	44,520	0
7	G (鹿児島市)	44,530	10
辞退	H (大島郡知名町)		
辞退	I (大島郡和泊町)		
辞退	J (大島郡和泊町)		

「工事内訳審査表(令和 4 年 9 月 14 日入札)」において、落札者 A の工事費内訳書との比較が行われているが、設計金額合計のほか内訳も一致している項目が多い。

所見としては「適正な積算と思われる。」となっている。

なお、A と C との工事費内訳書はすべての項目金額が一致しているが、他社においてもほぼ同額の内訳となっており、設計書とほぼ同額の工事内訳の金額(差額は 0 円~21,000 円)から、どれくらい安い受注が可能かという入札判断と推測される。

【参考】工事内訳書及び入札額の状況

金額単位：千円

区分	設計金額	A	B	C	D	E	F	G
畑地かんがい施設工（パイライン） 2号幹線排水路（+478～+1105）	14,468	14,469	14,469	14,469	14,469	14,469	14,469	14,479
畑地かんがい施設工（パイライン） 減 4-10-1号支線水路（土工は2号幹線水路に含）	4,625	4,625	4,625	4,625	4,625	4,625	4,626	4,625
畑地かんがい施設工（パイライン） 減 4-11-1号支線水路（一部土工は2号幹線水路に含）	4,862	4,862	4,862	4,862	4,862	4,862	4,862	4,862
畑地かんがい施設工（パイライン） 減 4-11-2号支線水路	311	311	311	311	312	312	311	311
畑地かんがい施設工（パイライン） 減 4-11-3号支線水路（土工は2号幹線水路に含）	483	483	483	483	483	483	485	483
畑地かんがい施設工（パイライン） 減 4-11-6号支線水路	314	314	314	314	314	314	314	314
畑地かんがい施設工（パイライン） 減 4-11-6号支線水路	247	247	247	247	248	248	247	247
畑地かんがい施設工（パイライン） 減 4-11-7号支線水路	196	196	196	196	196	196	196	196
直接工事費（仮説除く）	25,506	25,507	25,507	25,507	25,509	25,509	25,510	25,517
共通仮設費	3,896	3,896	3,896	3,896	3,896	3,896	3,897	3,896
現場管理費	8,350	8,350	8,350	8,350	8,351	8,351	8,352	8,353
一般管理費	6,772	6,767	6,772	6,767	6,773	6,773	6,771	6,775
合計（万未満切捨）	44,520	44,520	44,525	44,520	44,529	44,529	44,530	44,541
入札額		44,000	44,300	44,350	44,450	44,520	44,530	44,500
差額		△ 520	△ 225	△ 170	△ 79	△ 9	0	△ 41

工事内容別に見ても工事内訳は設計額とほぼ一致している状況がある。

- 令和4年9月21日 「建設工事請負契約書」  
 工期：自令和4年9月21日 至令和5年3月17日  
 請負代金額：48,400,000円
- 令和5年3月8日 「建設工事請負変更契約書」 1,566,000円減  
 変更後請負契約金額：46,834,000円

変更理由書(抜粋)

パイプライン延長	着工前測量結果に基づきパイプライン延長を変更したい。 また、異形管類についても併せて数量を変更したい。 なお、2号幹線水路アスファルト舗装復旧工は、舗装前の道路管理者との協議により、舗装切断及び復旧面積等の数量が変更となったことから、別計上での積算としたい。
離脱防止金具	当初、離脱防止金具については、切菅が生じた場合も想定し計上していたが、異形管前後で切菅が生じない場合での検討を行った結果、不要箇所が多数発生したことから、数量を変更しコスト縮減に努めたい。

- 令和5年3月17日 「完成通知書」 出来高確認済 計画係長
- 令和5年3月30日 「検査調書」、検査合格
- 令和5年4月5日 「令和4年度 工事台帳 (契約別・県営事業)」
- 令和5年3月30日 決裁 「支出命令票」 支払日：令和5年4月13日

IV-6 農地改良費「畑地帯総合農地整備事業(公共)」

工事請負費 沖永良部事務所 当初予算 1,138,617千円

◆【抽出契約等】繰越 第二田皆地区 3-4 工区 事業費 63,354千円 4.2.18~4.12.13

- 令和4年1月25日 「入札契約手続運営委員会」

委員会名：沖永良部事務所委員会

工事名	畑地帯総合整備事業(担い手育成型) 第二田皆地区 3-4 工区
工事場所	大島郡知名町正名地内ほか
工期	令和4年3月31日限り
発注業種	土木一式工事
工事概要	設計額(税込み)：46,024,000円 地区内整備、2号集水池付帯工事一式

指名推薦業者等級A~○Bの10社が選定されている。

- 令和4年2月10日 入札執行調書(抜粋) ※電子入札

設計額、予定価格：46,024千円(入札書比較価格：41,840千円)、最低制限価格：42,134(38,304)千円

順位	入札者氏名	入札価格(千円)	入札書比較価格に対する比較
1	A	41,200	△640
2	B	41,500	△340
3	C	41,500	△340
4	D	41,600	△240
5	E	41,600	△240
6	F	41,700	△140
7	G	41,700	△140
8	H	41,750	△90
9	I	41,800	△40
10	J	41,800	△40

「工事内訳審査表（令和4年2月10日開札）」において、落札者Aの工事費内訳書との比較が行われているが、審査結果（所見）として、「全ての項目において、設計金額との差が2割以内であり問題ない。」との結論である。

● 令和4年2月17日 「建設工事請負契約書」

工期：自令和4年2月18日 至令和4年3月31日  
 請負代金額：45,320,000円（税抜：41,200,000円）

● 令和4年8月31日 「建設工事請負変更契約書」

工期：変更完成期限 令和4年9月5日（8月24日変更指示書）  
 今回変更完成期限 令和4年12月20日  
 変更後請負契約金額：63,354,000円（増額 18,034,000円）

変更理由書(抜粋)

16号耕作道路	16号耕作道路 <sup>2</sup> に隣接する2号浸透池から表土を確保する計画だったが、試掘を行った結果表土に適さなかったため、16号耕作道路の盛土材に流用し16号耕作道路及び2号浸透池の早期完成に努めたい。
2号浸透池	現在、2号浸透池を排水の流末としているが、上流部のほ場整備が終わり2号浸透池への排水量が増えてきており、台風等の大雨時に越流する恐れがあるため、今回5,500㎡掘削を行い流末の確保を行いたい。また、掘削した土は今年度施工箇所の基礎土が不足しているため、流用したい。
付帯工 (地区境界安全施設)	※ガードレール設置 過年度ほ場整備施工箇所において、ほ場と道路に高低差ができ転落する恐れがあるため、今回L=171.5mを追加し、転落防止に努めたい。

● 令和4年12月8日 「建設工事請負変更契約書」

※工期及び請負契約金額の変更なし。

変更理由書(抜粋)

2号浸透池	今年度ほ場整備施工の基盤土として、1号集水池の掘削土を流用する計画だったが、1号集水池から表土を多く確保でき基礎土が不足することとなった。このため、 <u>16号耕作道路の盛土材を、ほ場整備の基盤土に流用し早期完成に努めたい。</u>
16号耕作道路	上記理由により減とし、 <u>次年度以降の施工</u> としたい。

● 令和4年12月13日 「検査調書」、検査合格

● 令和4年12月21日決裁 「支出命令票」 支払日：令和4年12月28日

<sup>2</sup> 「農道」は、農業用資材の搬入、農産物の処理・加工・貯蔵・流通施設への集荷、あるいはそれらの施設から市場、消費地への輸送に利用される基幹的農道と、ほ場への通作、農産物の収穫、防除作業、搬出等に利用されるなど農業活動に直接関わりを持つほ場内農道に分類される。

- ・基幹的農道
- ・ほ場内農道
  - ・幹線農道（集落とほ場、ほ場間、ほ場と基幹的農道等を結ぶ農道）
  - ・支線農道（幹線から分岐し、ほ区、耕区に連絡する農道）
    - 通作道（収穫物運搬のための農道）
    - 通作道の連絡道
- ・耕作道（耕区内の農道）

## IV-7 令和4年度土地改良融資事業等指導監督費補助金(本庁) 当初予算 15,000 千円

### 1 目的

- 「土地改良事業関係補助金交付要綱」(最終改正：令和4年12月2日付)  
(交付の目的)

第2 補助金は、土地改良事業等による農業農村の整備等を目的とする。

- ・「鹿児島県土地改良区体制強化事業補助金交付要綱」  
(趣旨)

第1条 知事は、土地改良区の施設・財務管理の強化、受益農地管理の強化、総合整備の推進、研修・人材育成等の土地改良区の体制強化対策を図るため、予算の定めるところにより事業を実施する団体等に対し、予算の範囲内において補助金を交付するものとし、(以下略)。

#### 【参考】土地改良区<sup>3</sup>体制強化事業実施要綱(農林水産省)

##### 第1 趣旨

土地改良区は、農業水利施設の管理や農業生産基盤の整備を通じた農用地の利用集積を推進する中心的役割を担う団体であり、その機能と役割が十分発揮されることが期待されている。しかしながら、土地改良区は、未だ規模が小さく専任職員を配置できない地区も半数程度存在することから、引き続き、全ての土地改良区において、職員を配置できるように統合再編を促進するとともに、農業・農村の構造の変化や組合員のコスト意識の高まり等に対応するため、事業運営の透明化やガバナンスの強化を推進することにより、組織運営基盤の強化を図ることが必要である。また、土地持ち非農家の増加、農業者の高齢化、地域の営農形態の多様化等に対応するため、農業水利施設の計画的かつ効率的な保全管理、所有者の所在が不明なものを含む農用地の利用集積への対応等の技術向上等による事業実施体制の強化を図ることが必要である。このため、土地改良区自らが主体的に将来の在り方を検討するなどの地域の自助努力を促しつつ、本事業により、土地改良区の施設・財務管理の強化、受益農地管理の強化、統合整備の推進、研修・人材育成等の土地改良区の体制強化対策を実施する。

##### 第2 事業の内容(内容の記載略)

- 1 施設・財務管理強化対策
- 2 受益農地管理強化対策
- 3 統合整備強化対策
- 4 研修・人材育成
- 5 特定被災土地改良区復興支援対策
- 6 複式簿記導入促進対策

- ・収支予算書・事業計画書等による補助金の内容

上記第2事業の内容のうち1施設・財務管理強化対策、2受益農地管理強化対策に対する補助金となっていた。

<sup>3</sup> 「土地改良区(愛称：水土里(みどり)ネット)」は、一定の地区内で農業の生産性の向上を図るため、農業水利施設、農道などの整備・管理、ほ場の整備などいわゆる土地改良事業を実施することを目的とし、土地改良法に基づいて設立される農業者の組織。また、土地改良区は、土地改良事業の中核的な実施主体として位置付けられている。  
なお、土地改良区の事業は農村地域における水と農地の管理主体としての役割を通して地域の環境保全にも大いに寄与している。

区 分	予算額	前年度予算額	比較増減
[収入の部]			
国庫補助金	7,100,000	7,100,000	0
県補助金	4,950,000	4,950,000	0
土地改良区等費	0	0	0
計	12,050,000	12,050,000	0
[支出の部]			
1.施設・財務管理強化対策	7,150,000	7,150,000	0
(1)施設管理強化対策	5,000,000	5,000,000	0
(2)財務管理強化対策	2,150,000	2,150,000	0
2.受益農地管理強化対策	4,900,000	4,900,000	0
計	12,050,000	12,050,000	0

(注)支出内容では賃金が減少し、給料が増加している状況がある。

### 実施手続の結果

当該事業に係る予算書、土地改良事業関係補助金交付要綱、土地改良区体制強化事業実施要綱、鹿児島県補助金等交付規則、鹿児島県土地改良区体制強化事業補助金交付要綱、割当内示、交付決定前着手届、交付申請、交付決定、概算払申請、概算払請求、支出命令、実績報告、額の確定に関する資料が整備されていた。

「令和4年度土地改良区体制強化事業実施計画書」においては、1.施設・財産管理強化対策事業（平成28年度事業開始7年目）、2.土地改良区等の財務管理強化に関する指導等が、「受益農地管理強化対策実施計画書」においては（1）受益農地管理強化委員会の設置、（2）換地選定に関する指導、（3）換地処分未了地区等の解消に関する指導、（4）財務管理制度活用に関する指導、（5）交換分合等による農用地の利用集積に関する指導が計画され、このほか、「令和4年度 研修・人材育成実施計画書」も作成されている。

鹿児島県土地改良事業団体連合会からの「土地改良区体制強化事業 実績報告書」（令和5年3月17日）の「施設・財務管理強化対策 実績報告書」においては「5 複式簿記会計に関する巡回指導」の実績も記載されており、「令和4年度 受益農地管理強化対策実施結果報告書」においては2 換地技術向上研修（1）換地事務に関する研修実績も記載されている。

農林水産省の上記要綱に記載されている、4 研修・人材育成、6 複式簿記導入促進対策も1 施設・財務管理強化対策、2 受益農地管理強化対策において実施されているのではないかとと思われるので、実施要項との整合性と実績報告書の様式等確かめてもらったが、これについては「6 複式簿記導入促進対策は、複式簿記会計ソフトの開発に対する補助事業である。県土改連はソフト開発を行っていないため、6 複式簿記導入促進対策の対象ではない。また、県土改連は、4 研修・人材育成のうち、換地等技術研修を実施しているところである。ただ、様式上、換地技術向上研修は、2 受益農地管理強化対策 にまとめて記載することになっており、県土改連もその様式を用いて実績報告をしている。」とのことで、現状のとおりで問題ないとの説明であった。

IV-8 経営体育成基盤整備事業(公共)【農地改良費】

委託費 大隅地域振興局 当初予算 250,204 千円

◆【抽出契約等】 上門地区 委託 4-1 事業費 6,096 千円 4.9.12~5.3.29

地区概要

大隅地域振興局農村整備課

農地整備課所管事業

事業名	経営体育成基盤整備事業(公共)				
地区名	上門地区				
事業工期	平成28年~令和6年				
	全体	R3年度迄	R4年度	R5年度以降	備考
事業費	867,000	411,710	132,000	323,290	(千円)
事業量	区画整理A=32.4ha 農業用排水L=1,845m	区画整理A=14.0ha 農業用排水L=400m	区画整理A=3.9ha 農業用排水L=400m	区画整理A=14.5ha 農業用排水L=1,346m	※R4年度予算の一部は繰越

令和4年度	事業費	工事費	委託費	その他	備考
	132,000	122,000	10,000		91,291(経営体) 40,709(耕作)
	工事・委託内容	区画整理 A=3.9ha, 農業用排水 L=400m 用地補償費 一式, 測量試験費 一式, 換地費 一式			
	施工場所	志布志市 安楽地内			

事業工期は平成28年から令和6年までの9年間にわたる事業である。令和4年度は事業開始から7年目となる。

●令和4年9月8日 「入札執行調書」(抜粋)

設計額及び予定価格：7,645,000円(入札書比較価格：6,950,000円)

最低制限価格：6,194,760円(税抜5,631,600円)、最低制限価格の割合81.03%

順位	入札者氏名	入札価格(円)	入札書比較価格に対する比較
1	A (鹿児島市)	5,631,600	△1,318,400
2	B (鹿児島市)	5,631,600	△1,318,400
3	C (鹿児島市)	5,631,600	△1,318,400
4	D (曾於市)	5,631,600	△1,318,400
5	E (鹿児島市)	5,631,600	△1,318,400
6	F (南さつま市)	5,631,600	△1,318,400
7	G (鹿児島市)	5,631,600	△1,318,400
8	H (鹿児島市)	6,800,000	△150,000
9	I (鹿児島市)	6,900,000	△50,000
10	J (鹿児島市)	6,950,000	△0

(注)「指名通知書」には最低制限価格の算出方法(構成業務ごとの予定価格に対する率)の記載がある。

表のとおり、1順位から7順位まで最低制限価格での入札となっており、同日の「落札者決定通知書」には「※くじ実施：当案件は抽選により落札者を決定しました。」の記載があり、資料として「電子くじ<sup>4</sup>計算結果」が保管されている。

<sup>4</sup> 「電子くじ」とは、落札となるべき同価格の応札者が2者以上あった場合に落札候補者の決定を電子入

## [入札状況について]

電子入札による結果ではあるが、表のように最低制限価格と100円単位まで同額で10社のうち7社が入札しているような状況がある場合については、考えられる理由(原因)を記録しておくのが、今後の入札対応資料としても有用ではないかと考える。

このことについては、県は業界団体との意見交換の機会に原因(積算能力が向上している、受注競争が激しく最低制限価格での入札を行っている)を聴いており、さらに、入札が成立しなかった場合は、全社に原因の聴き取り調査を行った上で「辞退理由等聴き取り結果」に整理しているとの説明であった。

## ●令和4年9月12日 「設計業務等委託契約書」

発注者	大隅地域振興局長
受注者	A (鹿児島市)
業務委託料	6,194,760円 (税抜き 5,631,600円)
履行期間	令和4年9月13日～令和5年3月24日

## ●令和5年2月22日 「設計業務等委託変更契約書」

業務委託料の減額：98,760円 変更理由書の添付を確認した。

## ●令和5年3月29日 「成果物引受書」

## ●令和5年3月29日 完了検査

## ●令和5年3月29日起票 「支出命令票」 支払日：令和5年4月21日(債権者の希望)

---

札システム上で行う機能。入札書提出時にあらかじめ入力した3桁の「入力くじ番号」に「入札書受付日時」の1970年1月1日0:00(グリニッジ標準時)からの累積された秒数3桁を加算して決定される「確定くじ番号」により、公平な電子くじを行い、落札候補者を決定する。



IV-9 経営体育成基盤整備事業(公共)【農地改良費】

工事請負費 大隅地域振興局 当初予算 894,465 千円

◆【抽出契約等】明許岩弘地区 3-6 工区 事業費 116,934 千円 4.5.6~5.3.9

事業名	経営体育成基盤整備事業(公共)				
地区名	岩弘地区				
事業工期	平成30年~令和7年				
	全体	R3年度迄	R4年度	R5年度以降	備考
事業費	2,126,000	918,674	638,000	569,326	(千円)
事業量	区画整理A=76.9ha	区画整理A=19.6ha	区画整理A=13.9ha	区画整理A=43.4ha	※R4年度予算の一部は繰越
令和4年度	事業費	工事費	委託費	その他	備考
	638,000	599,253	33,333	5,414	358,000(経営体) 280,000(耕作)
	工事・委託内容	区画整理 A=13.9ha	測量試験費 一式 換地費 一式	用地補償費 一式	
	施工場所	東串良町 岩弘地内			

岩弘地区の工事は平成30年から令和7年までの8年間にわたる工事であり、令和4年度はその5年目にあたる。

- 令和4年3月15日 大隅地域振興局農林水産部入札契約手続運営委員会  
[一般競争入札 参加資格要件設定]

発注形態	●単体発注 ●事後審査型 ●総合評価方式(特別簡易型) 一般競争入札
------	------------------------------------

本県工事の入札参加資格要件は、適当であることを確認した。

1 工事名	経営体育成基盤整備事業 岩弘地区 3-6 工区
2 工事場所	肝属郡東串良町岩弘地内
3 発注業種	土木一式工事(一般土木工事)
4 工種	土木一式工事(ほ場整備工事)
5 設計金額	5千万円~1.3億円未満(89,892,000円)
6 工期	260日間
7 工事概要	区画整理工 A=2.8ha
8 設計業務等受託者	鹿児島県土地改良事業団体連合会

- 令和4年3月22日 一般競争入札公告 ※電子入札  
掲示期間：令和4年3月23日(水)~令和4年4月12日(火)
- 令和4年4月1日 「入札参加申込書」 A(肝属郡東串良町)

●令和4年4月12日 入札契約手続運営委員会会議録（抜粋）

執行方法	事後審査型一般競争入札
工事名	経営体育成基盤整備事業 岩弘地区 3-6 工区
落札方式	総合評価方式（特別簡易型）
工事請負	技術評価点
工事概要	区画整理工 A=2.8ha
入札参加者の技術評価点	略

●令和4年4月13日 「競争参加資格確認通知書」

入札開始日時：令和4年4月13日 08時30分  
 入札書提出締切日時：令和4年4月15日 09時30分  
 内訳書開封予定日時：令和4年4月15日 09時31分  
 開札予定日時：令和4年4月15日 10時00分

●令和4年4月15日 「入札執行結果表」

入札額	81,700,000円
契約締結予定日	令和4年5月2日
工期	令和4年5月6日～令和5年1月20日 260日間

●令和4年4月26日 「入札契約手続運営委員会」

●令和4年4月26日 「落札者決定通知書」

商号又は名称	入札金額
A（肝属郡）	81,700,000円

なお、4月15日に工事内訳審査が実施されているが、所見「特に問題はない。」との記載である。

●令和4年5月2日「建設工事請負契約書」請負代金 89,870,000円(税抜 81,700,000円)

工期 自令和4年5月6日 至令和5年1月20日 260日間

●令和4年11月17日 「工事検査結果復命書(500万円以上用)」されている。検査合格

●令和5年1月16日 「建設工事請負変更契約書」 増額：24,502,001円

変更後請負代金額：114,372,001円（税抜 103,974,547円）

変更理由書（抜粋）

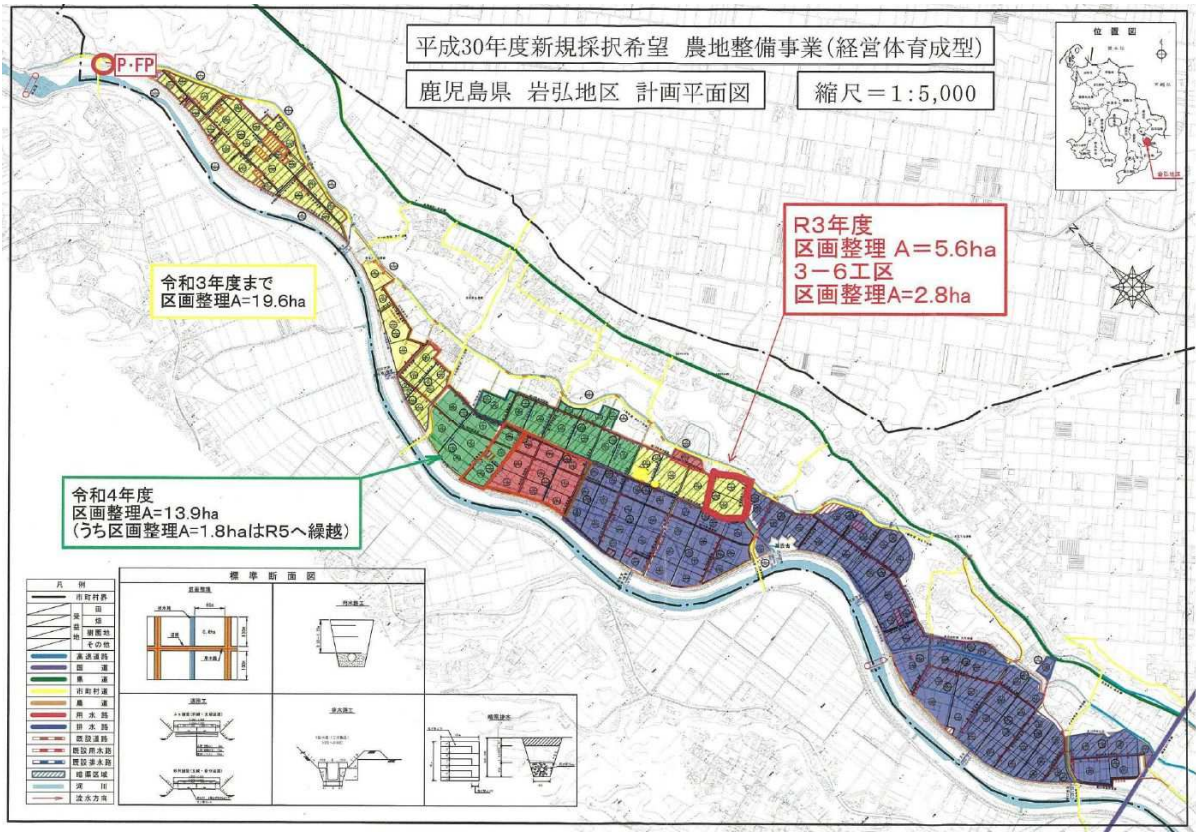
排水路工	当初想定とした軟弱土の厚みが薄く、また平板載荷試験を行った結果、支持力を確認したことから基礎工割栗石置き換え厚を変更したい。
仮設工	・第22号排水路の掘削を行ったところ、地下水及び湧水により法面崩壊が生じ隣接道路と周辺住宅への影響も懸念されることから、矢板打設を行い法面の安定と周辺住宅への影響を軽減したい。 ・排水路施工及び矢板打設において、材料搬入が困難なことから左記数量のとおり追加施工し安全を図りたい。 ・周辺地下水位が高く、また大量の湧水が発生し排水路の施工が困難な事から、水替工を実施したい。
工期の変更	仮設工矢板への工法変更による検討期間、及び契約変更増に伴い工期を45日間延長したい。

●令和5年3月3日 「建設工事請負変更契約書」 増額：2,561,999円

変更後請負代金額：116,934,000円(税抜 106,303,637円)

●令和5年3月9日「工事目的物引受書」、検査合格

●令和5年3月9日起票「支出命令票」 支払日：令和5年3月22日(債権者の希望)



【着工前と完成時の現場写真】 岩弘地区 3-6 工区

岩弘地区 3-6 工区に係る工事業者作成資料から抽出した着工前と完成時の写真である。

【着工前】

【完成時】



令和 5 年 10 月 19 日の現場往査時にも視察したがきれいに整備されていた。

## IV-10 令和4年度農業経営高度化支援事業補助金 補助金 南薩地域振興局 当初予算 6,000 千円

- 令和4年6月3日 南さつま市長から南薩地域振興局長に「令和4年度農業経営高度化支援事業補助金交付申請書」を提出

事業の目的	水稲、飼料（飼料米）を中心とした生産活動を推進し、生産者と行政が一体となり、従事者の高齢化に対応した農作業受委託システムの構築を行い、農用地集積促進を推進し安定した農業経営の確立を図る。
-------	---

交付決定前着手が必要である理由	地元営農者より、急遽裏作で10月頃に作付けしたいとの意向があり、早期に工事を完了する必要が生じたため。
-----------------	---

### 生産基盤整備事業等の実施状況

事業名	地区名	関係市町村名および土地改良区 <sup>5</sup> 名	総事業費 (百万円)	受益面積 (ha)	着工年度	完了年度	主な工事内容
経営体	小湊	南さつま市 小湊土地改良区	6	17.2	H30	R6	農業用排水

### 農業経営高度化促進事業

(単位：千円)

総量		本年度				翌年度以降
事業量	事業費	事業量	事業費	国庫補助金	市町村費	事業費
一式	19,045		6,000	3,300	2,700	13,045

- 令和5年3月31日決裁 「支出命令票」 支払日：令和5年4月14日  
支出命令額：3,300,000円

<sup>5</sup> (再掲)「土地改良区(愛称：水土里(みどり)ネット)」は、一定の地区内で農業の生産性の向上を図るため、農業水利施設、農道などの整備・管理、ほ場の整備などいわゆる土地改良事業を実施することを目的とし、土地改良法に基づいて設立される農業者の組織。また、土地改良区は、土地改良事業の中核的な実施主体として位置付けられている。

## V 大島支庁往査

令和5年11月2日 工事現場往査

9時～12時：抽出事業についての概況聴取及び資料等の説明を受ける

13時～16時：工事实施事業場①及び②の視察

①県営中山間地域総合整備事業（一般型）住用地区

②県営中山間地域農業農村総合整備事業 瀬戸内東部地区

### 【参考】大島地区令和4年度ランク別業者数

現場往査時に依頼して作成してもらったランク別指名業者数は次のとおりである。

A	B	C	D	計
18	11	22	49	100

業者数が少ないのではないかと思ひ聞いたところであるが、合計で100社とのことであった。

#### 【参考】奄美大島の荒廃農地に関する新聞記事

鹿児島県は22日の県議会の一般質問で、2021年度の奄美大島の荒廃農地面積は1776haで、全農地に占める荒廃率が46.5%と明らかにした。全国平均の5.6%、県平均の10.7%と比べ突出して高い。

農家の高齢化や担い手不足、不在地主の多さに加え、島を森林が覆い、耕地に適した平地が少ない地理的環境が要因。

全国で耕作放棄地が拡大し、荒廃が進むなか、国は農地の集積を通じた農業の効率化を後押ししようとして、今年4月、改正農業経営基盤強化促進法<sup>6</sup>を施行。24年度末までに、全国の市町村に10年後の農地利用の姿を明確化する「地域計画」の策定を義務付けた。県は策定を支援して荒廃農地の防止や解消に努める考えだ。

県は対策として、農地の維持を目的とした交付金「日本型直接支払い制度」の活用や、担い手に集積する農地中間管理事業を進めるが、荒廃農地率（10.7%）は全国14番目に高い。

農村振興課長は「危機感を持って農地集積などに取組み、将来は荒廃農地ゼロを目指す」と話した（令和5年6月23日南日本新聞より）。

## V-1 畑地帯総合整備事業（担い手支援型、施設整備）

### ◆第三あやまる地区 4-1 工区

#### 1 事業の概要

本地区は、県営かんがい排水整備事業笠利東部地区により畑地かんがい施設整備が実施された地域である。

しかし、平成15年頃から、給水栓・ライザーブロック周辺の配管から漏水が頻繁に発生

<sup>6</sup> 「農業経営基盤強化促進法」は、農地の利用集積や農業者の経営管理の合理化などを講じることで、農地集積を促進するための法律。2022年に改正され、将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」が法定化。この地域計画は、農地の受け手を幅広く確保しながら農地バンクを活用した農地の集約化・効率利用を進めることを目的としている。

し、その補修に多大な労力と費用を費やしている。また、主要作物のサトウキビ及びハウス園芸作物等への安定した水の供給にも支障をきたしており、今後も維持管理費、補修費の増加が懸念される。

そのため、安定した農業生産の継続及び複合経営の発展を目指すために、本事業が導入された。

## 2 計画の概要

本地区は、先行した「あやまる地区 (H18～H23)、第二あやまる地区 (H25～H29) に引き続き平成 29 年度に採択され、69.3ha の給水栓とライザーブロックの更新を行うものである。

なお、本地区は地下水及び土質（硫化物等）が原因と考えられる腐食性土壌により、設置後 10 年経過しないうちに漏水が多発したことを解消するために計画された事業であることから農家負担はなしとしている。

工種	受益面積	事業費	計画工期
農業用 用排水施設	69.3 ha	262,800 千円	H29～R6 (8 年間)

### 負担割合（工事雑費、事務費抜き）

	国	県	市	農家負担
工事費負担割合	2/3	7/30	10%	0%
負担額	188,666	66,034	28,300	0

## 3 事業の進捗状況

総事業量	整備済 (R4 年度迄)	整備予定 (R5 年度)	未整備 (R6 年度以降)
69.3 ha	52.3 ha	4.0 ha	13.0 ha

(単位：千円)

	総事業費	R3 年度迄	R4 年度	うち 繰越	R5 年度 当初	R5 年度 以降	進捗率(R5 未見込み)
工事費	283,000	176,080	15,000	—	15,000	76,920	72.7%
工雑・事務費	16,600	10,110	800	—	800	4,890	
合計	299,600	186,190	15,800	—	15,800	81,810	

令和 5 年度末における事業の進捗状況は 72.7%が見込まれており、令和 6 年度までの 8 年間にわたって工事が実施される計画である。

●令和 4 年 9 月 28 日 「入札契約手続運営委員会」

●令和 4 年 10 月 17 日 「入札執行調書」※電子入札  
設計額、予定価格 11,770,000 円（税抜 10,700,000 円）  
最低制限価格 10,718,048 円（税抜 9,743,680 円）

順位	入札者氏名	入札価格(円)	入札書比較価格に対する比較
1	A (奄美市名瀬)	9,743,680	△956,320
2	B (奄美市笠利町)	9,743,680	△956,320
3	C (奄美市名瀬)	9,743,680	△956,320
4	D (奄美市笠利町)	9,743,680	△956,320
5	E (奄美市笠利町)	9,745,550	△954,450
6	F (奄美市名瀬)	9,745,550	△954,450
7	G (奄美市住用町)	辞退	
8	H (奄美市笠利町)	辞退	
9	I (大島郡龍郷町)	辞退	
10	J (奄美市名瀬)	辞退	

表のように、4社が最低制限価格での入札となり、「電子くじ」により落札者が決定されている。

#### [入札状況について]

最低制限価格で4社が入札し、辞退者が4社いる等の入札状況については、各社最低制限価格での入札を想定しており、それが自社にとっては採算上厳しいため辞退すると判断したのか等、考えられる要因（原因）について記録として保管しておくのが今後の入札対応資料として有用と考える。

このことについては、県は原因の究明・検討・整理は不調・不落が発生した時の対応として扱っているが、業界団体との意見交換の機会に原因（積算能力が向上している、受注競争が激しく最低制限価格での入札を行っている、人員不足）について聴いており、さらに、入札が成立しなかった場合は、全社に原因の聴き取り調査を行った上で「辞退理由等聴き取り結果」に整理しているという説明であった。

#### ●令和4年10月24日 「建設工事請負契約書」

工期：自令和4年10月25日 至令和5年3月27日 154日

請負代金：10,718,048円

#### ●令和5年3月9日 「建設工事請負変更契約書」増額：1,462,952円

変更後請負契約金額：12,181,000円

#### 変更理由書(抜粋)

排水栓等更新	営農調整による施工ほ場の変更及び早期事業効果を図るため施工ほ場の追加を行った。このことから、左記のとおり数量変更したい。
ライザーブロック更新	当初、既設ライザーブロックについては、取り壊し処分としていたが、農地法面の保護などに活用するため、管理者である奄美市土地改良区が指示する土地に運搬したい。 ※処分が不要となりコスト縮減が図られる。

#### ●令和5年3月30日 「検査調書」、 検査合格

#### ●令和5年3月31日 「令和4年度工事台帳（契約別・県営事業）」

支払済額計：12,181,000

(注) 厳密には支払は4月28日のため「支払済」ではないが、台帳システム上このような表示になるとの説明であった。

#### ●令和5年3月31日決裁 「支出命令票」 支払日：令和5年4月28日

## V-2 県営中山間地域総合整備事業(一般型)

### ■住用地区

#### 1 事業の概要

本地区は、奄美大島のほぼ中央部の旧住用村地域にあり、農業は山間傾斜地や昭和 50 年頃には水田から転換した畑においてタンカン等の果樹を主体に展開されている。

地域では、農業の振興に併せて女性グループが主体となった加工品の研究や販売活動による地産地消の機運づくりが進んでいるが、営農用水の確保が困難であることや、農道が未舗装であるなど生産基盤が脆弱なことから、営農意欲の減退や耕作放棄地の拡大が懸念されている。

そこで、本事業を導入し、農地の有効利用や農産物の品質向上を図るとともに、地元で生産される農産物を、地域での加工品の開発・販売活動でつなぎ、さらに観光振興による交流人口の拡大を図ることにより、地域全体に波及する活性化を目指す。

#### 2 計画の概要

当地区における事業の内容と事業目的は次のようである。

事業の内容	事業の目的
・農業用排水施設 (農業生産基盤整備)	タンカンを主体とした農地に営農用水の安定確保を図り、優良農地を確保する。
・農道 (農業生産基盤整備)	タンカンの荷痛み防止や営農環境を改善し、生産意欲の向上、規模拡大を図る。
・農地防災 (農業生産基盤整備)	農地への排水を適切に処理して被害を回避し、安定した生産性を確保する。
・集落排水 (農村生活環境基盤整備)	集落や農地の排水路を整備し、住民生活の安全性を確保する。
・活性化施設 (農村生活環境基盤整備)	住用地域の農産物の加工品開発等を行い、地域農業の活性化の拠点を整備する。
・交流施設基盤整備 (農村生活環境基盤整備)	奄美市の“森と水の町観光プロジェクト”と連携し、農業を通じた交流拡大を促進する。

#### 3 工事の進捗状況

工期	受益面積		
	畑	樹園地(タカンが主)	計
H25 年度～R4 年度 (10 年間)	33.2ha	45.8ha	79ha

平成 25 年度から令和 4 年度までの 10 年間で工期とし、計 79ha を受益面積とする事業であり、当年度が最終年度となっている。

#### 【工事費負担割合】

区分	国	県	市・地元 ※
農業生産基盤整備	70.0%	25.0%	5.0%
農村生活環境基盤整備	70.0%	20.0%	10.0%
負担額	649,336	279,255	59,441

※地元(受益者)負担は給水栓設置に伴う 1 千円/箇所のみ



(単位：千円)

区分	総事業費	R2 年度迄	R3 年度		R4 年度	R4 以降	進捗率 (R4 末)
			うち繰越		最終変更額		
工事費	922,623	856,686	20,000	4,000	12,668	33,269	95.9%
工雑事務費	60,409	51,220	1,200	—	750	7,239	
合計	983,032	907,906	21,200	4,000	13,418	40,508	

工種		路線数	総事業量	整備済 (R3 年度迄)	整備予定 (R4 年度)	残整備 (R4 年度以降)
生産	農業用排水施設	9	9,095 m	8,024 m	—	1,071 m
	農道	16	5,286 m	4,932 m	—	354 m
	農地防災	1	1 ha	1 ha	—	0 ha
環境	集落排水	2	436 m	436 m	—	0 m
	活性化施設	—	1 箇所	1 箇所	—	0 箇所
	交流施設基盤整備	—	1 箇所	1 箇所	—	0 箇所

令和 2 年度実績	農道 L=293m
令和 3 年度実績	農道 L=130m、補完工一式、計画変更委託業務、農道台帳作成
令和 4 年度実績	農道台帳作成一式、交流施設基盤整備補完工一式

当該工事は令和 4 年度の整備予定が発生しておらず、残整備はある状況となっているが、大島支庁での担当者への工事状況聴取では、計画数量（9,095m）に対して、設計実績数量（8,024m）が小さいため、1,071mは計画と実績との差延長として発生しているが、残整備が実際にあるわけではないとの説明を受けた。

実際に令和 4 年度の工事箇所 2 箇所（住用地区 4 - 2 工区及び住用地区 3 - 2 工区）を視察したが、いずれも上の事業概要に記載の主たる工事は終了しており、工事完了後の追加的な工事とのことであった。

### V-3 県営中山間地域総合整備事業

#### ◆住用地区 4-2 工区

●令和4年11月10日 「入札契約手続運営委員会」

●令和4年11月29日 「入札執行調書」

設計額、予定価格：2,739,000 円（税抜 2,490,000 円）

最低制限：2,480,027 円（税抜 2,254,570 円）

順位	入札者氏名	入札価格(円)	入札書比較価格に対する比較
1	A (奄美市名瀬)	2,254,570	△235,430
2	B (奄美市名瀬)	2,254,570	△235,430
3	C (奄美市名瀬)	2,254,570	△235,430
4	D (奄美市住用町)	2,254,570	△235,430
5	E (奄美市名瀬)	2,490,000	0
6	F (奄美市名瀬)	2,490,000	0
7	G (奄美市名瀬)	失格 2,253,600	
8	H (奄美市住用町)	辞退	
9	I (奄美市名瀬)	辞退	
10	J (奄美市名瀬)	辞退	

表のように、4社が最低制限価格での入札、2社が設計額での入札となり、「電子くじ」により落札者が決定されている。

#### [入札状況について]

最低制限価格で5社（うち失格1社）が入札し、予定価格で2社入札、辞退者が3社いる等の入札状況については、考えられる理由（原因）について、記録として保管しておくのが今後の入札対応資料として有用と考える。

これについては、原因の究明・検討・整理は不調・不落が発生して時の対応として扱っているが、業界団体との意見交換の機会に原因（積算能力が向上している、受注競争が激しく最低制限価格での入札を行っている、人員不足）について聴いており、さらに、入札が成立しなかった場合は、全社に原因の聴き取り調査を行った上で「辞退理由等聴き取り結果」に整理しているという説明であった。

●令和4年12月6日 「建設工事請負契約書」

工期：自令和4年12月7日 至令和5年3月24日 108日間

請負代金額：2,480,027 円

●令和5年2月24日 「建設工事請負変更契約書」 増額：391,973 円

変更後請負契約金額：2,872,000 円（税抜 2,610,910 円）

#### 変更理由書(抜粋)

路面浸食防止工	着工前測量の結果、左記のとおり変更したい。
道路側溝溜柵	跳水防止のため、本工事で整備する水路と歩道部の既設側溝の接合部に柵及びグレーチングを追加設置したい。 また、柵の設置に伴う既設側溝の取り壊しに伴い、落蓋式側溝を敷設したい。

●令和5年3月8日 「検査調書」 ※工期は108日間、検査合格

●令和5年3月15日 「令和4年度 工事台帳（契約別・県営事業）」

支払済額計：2,872,000

（注）厳密には支払は4月14日のため「支払済」ではないが、台帳システム上このような表示になるとの説明であった。

●令和5年3月15日 決裁 「支出命令票」 支払日：令和5年4月14日

【11月2日 追加工事現場視察】主要道路から脇道の山に登っていく途中である。



#### V-4 県営中山間地域総合整備事業

◆住用地区3-2工区

●令和3年12月22日 「入札契約手続運営委員会」

●令和4年1月21日 「入札執行調書」

設計額、予定価格：5,500,000円（税抜5,000,000円）

最低制限：4,931,476円（税抜4,483,160円）

順位	入札者氏名	入札価格(円)	入札書比較価格に対する比較
1	A (奄美市住用町)	4,483,160	△516,840
2	B (奄美市住用町)	4,483,160	△516,840
3	C (奄美市名瀬)	4,483,160	△516,840
4	D (奄美市名瀬)	4,486,750	△513,250
5	E (奄美市名瀬)	4,530,000	△470,000
6	F (奄美市住用町)	4,750,000	△250,000
7	G (奄美市名瀬)	5,000,000	0
8	H (奄美市名瀬)	辞退	
9	I (奄美市名瀬)	辞退	
10	J (奄美市名瀬)	不参加	

表のように、3社が最低制限価格での入札、1社が予定価格での入札となり、「電子くじ」により落札者が決定されている。

- 令和4年1月28日 「建設工事請負契約書」  
 工期：自令和4年1月31日 至令和4年3月25日 54日間  
 請負代金額：4,931,476円（税抜4,483,160円）

- 令和4年3月18日 「建設工事請負変更契約書」

変更理由書(抜粋)

工期の変更	繰越議案承認に伴い左記のとおり変更したい。
-------	-----------------------

工期のみが、令和4年3月25日までの54日間から、令和4年7月22日までの173日間に変更されている。

- 令和4年7月11日 「建設工事請負変更契約書」 増額：291,524円（税抜265,022円）  
 変更後請負契約金額 5,223,000円（税抜4,748,182円）
- 令和4年7月13日 「検査調書」、検査合格
- 令和4年8月1日 「令和3年度 工事台帳（契約別・県営事業）」  
 支払済額：5,223,000円（注）台帳システム上の表示。
- 令和4年8月1日 決裁 「支出命令票」 支払日：令和4年8月19日

【送付書類中の着工前及び完成写真】



【追加工事現場視察 2 箇所目】現状は雑草が生えてきている。



[工事後の状況について]

現場視察時は令和 5 年 11 月 2 日であるが、工事完成は令和 4 年 7 月 22 日のため、1 年以上が経過している。工事完了後、何か特段の状況変化はなく、草刈等が実施された様子もなく、一見、湿地に雑草が生えている状況になっていた。

この状況について、見里集落排水路は集落内の排水不良による湛水を防止することを目的として、既存の排水路の改修を行っている。改修に伴い、排水路の構造が変更され、隣接する一部の土地の排水性が低下<sup>7</sup>することから、工事で発生する残土等を利用した土地の盤上げ（盛土）を実施しており、3-2 工区にて仕上げを行ったところ。

当該土地は、改修時点で（H28）で原野であり、また、地権者の了解を得て残土等を利用した盤上げにより排水の滞留は無くなり、湛水が解消されたことから事業の目的は達成しているものと考えているとの説明を受けた。

---

<sup>7</sup> 開水路であれば、任意の箇所で排水が可能だが、暗渠では側壁に開口部を設ける必要があり、1 筆に 1 箇所での排水としているとの説明であった。

## V-5 県営中山間地域農業農村総合整備事業

### ◆瀬戸内東部地区

#### 1 事業の概要

本地域は耕地面積が狭小で零細な農業経営を強いられているが、過去に基盤整備が行われ、さとうきび、輸送野菜、畜産を合わせた複合経営を中心に営農が行われている。一方、山間部側に位置する団地は、排水不良、拡幅改良を必要とする農道等の整備が遅れており営農活動に支障を来している。また、過疎化や農業従事者の高齢化等により、耕作放棄地の拡大が懸念されている状況である。このため、本地域においては、「地域の魅力 未来につなぐ「結いのまち」‘うもりい’瀬戸内」を将来像に更なる地域振興を図るため、今回、県営中山間地域農業農村総合整備事業を導入し、条件不利地域の生産基盤と生活環境を一体的に整備し、整備済み農地との相乗効果による地域経済全体の振興を図るものである。

#### 2 計画の概要

当地区における事業の内容と事業目的は次のようである。

事業の内容	事業の目的
・農業用排水施設 (農業生産基盤整備)	タンカンを主体とした農地に営農用水の安定確保を図り、優良農地を確保する。
・農道 (農業生産基盤整備)	タンカンの荷痛み防止や営農環境を改善し、生産意欲の向上、規模拡大を図る。
・ほ場整備 (農業生産基盤整備)	狭小で不整形な農地を区画整理し、生産性の向上、規模拡大を図る。
・農地防災 (農業生産基盤整備)	農地への排水を適切に処理して被害を回避し、安定した生産性を確保する。
・農用地の改良又は保全 (農業生産基盤整備)	イノシシ防護柵の整備により、食害被害を回避し安定した生産性を確保する。
・集落道 (農村生活環境基盤整備)	集落内や集落と農業用施設の連絡道を整備し、住民生活の利便性向上を図る。
・集落排水 (農村生活環境基盤整備)	集落や農地の排水路を整備し、住民生活の安全性を確保する。

工期	受益面積		
	畑	樹園地(タンカンが主)	計
H30 年度～R6 年度 (7 年間)	56.5ha	18.0ha	74.5ha

工期は平成 30 年度から令和 6 年度までの 7 年間にわたる事業である。

(単位：千円)

区分	総事業費	R3 年度迄	R4 年度		R5 年度 当初	R5 以降	進捗率 (R4 末見込み)
			うち繰越				
工事費	1,393,000	435,390	133,000	32,000	78,000	746,610	46.4%
工雑事務費	83,170	26,100	7,980	553	4,680	44,410	
合計	1,476,170	461,490	140,980	32,553	82,680	791,020	

## 工事費負担割合

区分	国	県	地元(町が全額負担)
農業生産基盤整備	70.0%	25.0%	5.0%
農村生活環境基盤整備	70.0%	20.0%	10.0%

工種		路線数	総事業量	整備済 (R4年度迄)	整備予定 (R5年度)	残整備 (R5年度以降)
生産	農業用排水施設	6	56.1 ha	- ha	- ha	56.1 ha
	農道	8	1,730.0 m	- m	- m	1,730 m
	ほ場整備	2	8.8 ha	- ha	- ha	8.8 ha
	農地防災	4	1,120 m	828.4 m	62.4 m	229.2 m
	イノシシ防護柵	3	7,710.0 m	- m	- m	7,710.0 m
環境	集落道	6	1,890 m	- m	- m	1,890.0 m
	集落排水	3	1,010.0 m	698.6 m	- m	311.4 m

令和元年度実績	農地防災(排水路)L=288.4m、集落排水 L=8.0m
令和2年度実績	農地防災(排水路)L=335m、集落排水 L=267.2m
令和3年度実績	集落排水 L=205.5m
令和4年度実績・予定	農地防災(排水路)L=130m(施工中)、集落排水 L=217.9m
令和5年度予定	農業用排水(畑地かんがい施設)一式、農地防災(排水路)L=62.4m

以下、令和4年度に実施された事業から抽出してその内容を検討する。

## V-6 県営中山間地域農業農村総合整備事業

## ◆瀬戸内東部地区 3-1 工区

●令和3年7月21日 「入札契約手続運営委員会」

●令和3年8月11日 「入札執行調書」

設計額、予定価格：49,984,000円（税抜45,440,000円）

最低制限：45,879,669円（税抜41,708,790円）

順位	入札者氏名	入札価格(円)	入札書比較価格に対する比較
1	A (大島郡瀬戸内町)	44,000,000	△1,440,000
2	B (大島郡瀬戸内町)	45,430,000	△10,000
3	C (大島郡宇検村)	辞退	
4	D (奄美市名瀬)	辞退	
5	E (奄美市名瀬)	辞退	
6	F (大島郡瀬戸内町)	辞退	
7	G (大島郡瀬戸内町)	辞退	
8	H (大島郡宇検村)	辞退	
9	I (大島郡宇検村)	辞退	
10	I (大島郡瀬戸内町)	辞退	

[入札状況について]

辞退者が 8 社いる等の入札状況（他工区で同様の入札が実施されていることも考えられるが、）については、考えられる要因（原因）について入札記録として保管しておくのが今後の入札参考資料として有用と考える。

これについては、原因の究明・検討・整理は不調・不落が発生したときの対応として扱っているが、業界団体との意見交換の機会に原因（人員不足等）について聴いており、さらに、入札が成立しなかった場合は、全社に原因の聴き取り調査の上「辞退理由等聴き取り結果」に整理しているという説明であった。

- 令和 3 年 8 月 18 日 「建設工事請負契約書」  
 工期：自令和 3 年 8 月 19 日 至令和 4 年 3 月 16 日 210 日間  
 請負代金額：48,400,000 円（税抜 44,000,000 円）
- 令和 4 年 3 月 14 日 「建設工事請負変更契約書」 減額：831,000 円  
 変更後請負契約金額：47,569,000 円（税抜 43,244,546 円）  
 今回変更完成期限：令和 4 年 6 月 6 日 82 日間増で 292 日間

変更理由書(抜粋)

施工方法	当初、No2+15～No.3+8、No.3+42～No.4+36、No.5+44～No6.+21 の区間については、オープン施工を計画していたが、受注者提案の仮設工法を採用することにより、部分施工が可能になり、安価となるため、左記のとおり変更したい。 ※オープン施工：既設水路と共に宅地塀（空洞）ブロックを取り壊して復旧する工法 ※部分施工：既設水路の一部と宅地塀（空洞）ブロックを取り壊さずに残す工法
施工方法変更関連	上記工法の変更に伴い、空洞ブロックの取り壊し復旧工を減じたい。
工事用道路	詳細な着工前測量の結果に基づき、資材の搬入及び架空線の回避に必要な工事用道路を追加したい。 また、工事用道路の追加設置に伴い、支障となる雑木の伐採を左記のとおり変更したい。
工事一時中止	大型水路（1500*1000）製品の納入遅延により工事の一時中止（80 日間）が必要となったことから、必要経費を計上したい。
週休 2 日補正	受注者から「週休 2 日」への取り組み希望があり、現場閉所率が 28.5%（4 週 8 休以上）を達成する見込みであることから、「補正あり」に変更したい。 ※工事一時中止期間の 80 日間は除く。

- 令和 4 年 6 月 3 日 「建設工事請負変更契約書」 増額：372,000 円

変更理由書(抜粋)

施工延長	当初、本工区での排水路の施工範囲は、道路と交差する No.6+21.7 までとしていたが、次期工区での施工スペースが狭小となり、道路内への BOX カルバート設置が困難となることから、施工延長を 1.2m 減としたい。
施工方法	宅地の擁壁など支障物件がない範囲では、既設水路を全て取り壊して改修するオープン施工を計画していたが、一部区間について、湧水が多く既設水路を全て取り壊すと安定した地盤を乱し施工が困難となることから、既設水路を一部残存させて回収する部分施工へ変更したい。

- 令和 4 年 6 月 10 日 「検査調書」、検査合格
- 令和 4 年 6 月 20 日 「令和 3 年度 工事台帳（契約別・県営事業）」

支払済額計 47,941,000 円

※「工事代金の早期支払願い」による支払希望日は令和 4 年 6 月 30 日



V-7 県営中山間地域農業農村総合整備事業

◆瀬戸内東部地区 4-1 工区

●令和4年7月28日 「入札契約手続運営委員会」

●令和4年8月18日 「入札執行調書」

設計額、予定価格：17,721,000 円（税抜 16,110,000 円）

最低制限：16,164,698 円（税抜 14,695,180 円）

順位	入札者氏名	入札価格(円)	入札書比較価格に対する比較
1	A (大島郡瀬戸内町)	14,722,840	△1,387,160
2	B (大島郡瀬戸内町)	15,990,000	△120,000
3	C (奄美市名瀬)	16,100,000	△10,000
4	D (大島郡瀬戸内町)	16,100,000	△10,000
5	E (大島郡瀬戸内町)	16,110,000	0
6	F (大島郡瀬戸内町)	14,690,000	失格
7	G (奄美市住用町)	辞退	
8	H (奄美市笠利町)	辞退	
9	I (大島郡宇検村)	辞退	
10	J (奄美市名瀬)	辞退	
11	K (大島郡瀬戸内町)	辞退	
12	L (奄美市笠利町)	不参加	

●令和4年8月25日 「建設工事請負契約書」

工期：自令和3年8月25日 至令和5年2月10日 170日間

請負代金額：16,195,124 円（税抜 14,722,840 円）

●令和5年2月9日 「建設工事請負変更契約書」 減額：2,393,124 円

変更後請負契約金額：13,802,000 円（税抜 12,547,273 円）

今回変更完成期限：令和3年3月31日 49日間増で219日間

変更理由書(抜粋)

施工方法	No.6.21~No.7+35の区間についてはオープン施工を計画していたが、受注者提案による仮設工で既設塀(空洞)ブロックを安定させた上での施工が可能なることから、部分施工に変更したい。 ※部分施工によりコスト縮減を図ることが可能となる。
施工方法変更関連	施工方法の変更に伴い、空洞ブロックの取り壊し復旧を減じたい。
準備費	施工計画検討の結果、工事の支障となる庭木を移植したい。
工事一時中止	コンクリート二次製品(大型水路、ボックスカルバート)の納入遅延により工事の一時中止(53日間)が必要となったことから、必要経費を計上したい。
工期の変更	納入遅延により工事の一時中止(53日間)が必要となったことから、左記のとおり延長したい。 ※協議により年度内完成とするため、4日間短縮した49日間の延長とする。

- 令和5年3月22日 「建設工事請負変更契約書」 増額：493,000円（税抜448,182円）  
変更理由書(抜粋)

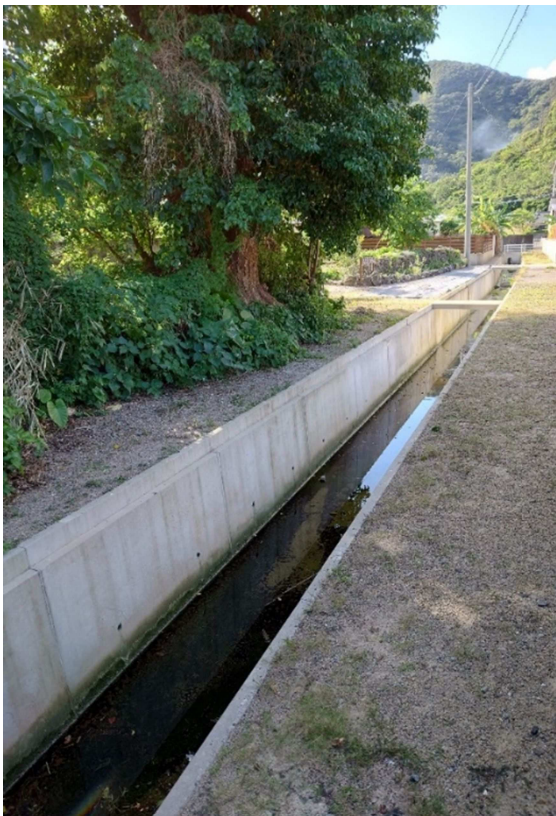
共通事項	E P側既設横断排水路が利用可能なため施工延長を減じたい。
土工	路線全線完了に伴い、仮設盛土材としてストックしていた過年度工事の発生土を処分したい。
付帯工	既設舗装への擦り付けに伴い、施工数量を増としたい。 想定数量から実績数量での計上に変更したい。

- 令和5年3月29日 「検査調書」 検査合格

- 令和5年4月3日 「令和4年度 工事台帳（契約別・県営事業）」  
支払済額計 14,295,000円（注）システム上の表示。

- 令和5年3月29日 決裁 「支出命令票」 支払日：令和5年4月10日

【工事現場視察】瀬戸内東部地区排水路工事 集落内の排水路工事である。



現地視察の結果においては特に記載すべき発見事項はなかった。

## VI 令和4年度実績

農地整備課の令和4年度の最終予算、決算の状況は次のとおりであった。

番号	区分 (費用名)	事業名	R4当初 (千円)	最終予算	R4実績	財源						翌年度繰越	不用額
						国庫	農地費分担 金負担金	県債	繰越金	諸 収 入	一般財源		
1	農地 費農 地総 務費	職員給与関係費	4,615	4,911,000	4,747,433						4,747,433	0	163,567
2		土地改良費(土地改良諸 費)	395,141	395,141,000	395,139,968						395,139,968	0	1,032
3		県営土地改良事業換地清 算金(R4はなし)											
		小計	399,756	400,052,000	399,887,401	0	0	0	0	0	399,887,401	0	164,599
4		職員給与関係費(支弁入 件費)	896,582	775,269,000	773,632,595	0	0	0	0	0	773,632,595	0	1,636,405
5		県営中山間総合整備事業 [公共]	1,564,838	2,180,776,000	1,702,445,552	964,531,000	120,024,850	318,000,000	222,597,000		77,292,702	471,994,000	6,336,448
6		県営農村振興等総合整備 事業[公共]	74,000	93,990,000	83,220,000	39,426,000	13,626,000	20,000,000	6,170,000		3,998,000	10,770,000	0
7		経営体育成促進事業(事 務雑費)[公共]	4,000	4,000,000	4,000,000	0	0	0	0		4,000,000	0	0
8		畑地帯総合農地整備事業 [公共]	8,024,963	13,863,714,000	9,798,301,212	5,513,193,000	797,443,537	1,626,000,000	1,381,658,680		480,005,995	4,017,293,000	48,119,788
9	農地 費土 地改 良費	農村環境保全整備事業 [公共]	84,800	127,956,000	81,567,000	48,133,000	3,440,000	18,000,000	8,956,000		3,038,000	46,389,000	0
10		経営体育成基盤整備事業 [公共]	2,106,442	3,624,856,000	2,387,494,707	1,259,888,101	201,729,237	445,000,000	412,794,000		68,283,369	1,227,877,000	9,484,293
11		(団体営)経営体育成促進 事業(工事費)[公共]	150	150,000	150,000	0	0	0	0		150,000	0	0
12		団体営農村振興総合整備 等総合補助事業[公共]	24,151	23,359,000	8,501,000	6,658,000	0	1,000,000	0		843,000	14,858,000	0
13		団体営中山間総合整備事 業[公共]	46,000	52,074,000	33,253,000	25,082,000	0	7,000,000	399,000		772,000	18,821,000	0
14		団体営基盤整備促進事業 [公共]	382,761	493,215,000	381,774,000	345,612,000	0	26,000,000	1,546,000		8,616,000	111,441,000	0
15		団体営土地改良施設維持 管理事業[公共]	396,357	509,145,000	433,178,000	271,882,000	0	0	28,488,000		132,808,000	75,967,000	0

16	土地改良基本調査事業	868	790,000	171,259	171,259	171,259	0	0	0	0	0	0	618,741
17	国営事業負担金〔公共〕	138,624	104,830,000	0	104,828,810	0	0	93,000,000	0	11,828,810	0	0	1,190
18	電力価格高騰対策余地改良区緊急支援事業	0	65,000,000	20,402,000	20,402,000	20,402,000	0	0	0	0	0	0	44,598,000
	小計	13,744,536	21,919,124,000	15,812,919,135	8,494,778,360	1,136,263,624	2,554,000,000	2,062,608,680	0	1,565,268,471	5,995,410,000	110,794,865	
	課計	14,144,292	22,319,176,000	16,212,806,536	8,494,778,360	1,136,263,624	2,554,000,000	2,062,608,680	0	1,965,155,872	5,995,410,000	110,959,464	

最終予算に比較して県営中山間総合整備事業が4億78百万円、畑地带総合農地整備事業（公共）が40億65百万円、経営体育成基盤整備事業（公共）が12億37百万円少なく、課計で57億80百万円実績が少なくなっている。なお、翌年度繰越額が59億95百万円である。

## Ⅶ 主要事業の成果についての検討

「令和 4 年度 主要施策の成果に関する調書」における「県営中山間総合整備事業（公共）」、「畑地帯総合農地整備事業（公共）」及び「経営体育成基盤整備事業（公共）」に関する記載は次のとおりである。

### Ⅶ-1(6) 県営中山間総合整備事業(公共)

#### <1> 施策の目的

中山間地域において、きめ細やかな農業生産基盤及び生活環境基盤の整備を一体的に実施し、農村地域の活性化を図る。

#### <2> 施策の実施状況(アウトプット)

計画に対する事業の実施状況は次のとおりである。

計画:①		実績:②	差額:②-①	計画比(%)
事業費	2,180,776 千円	1,702,446 千円	△478,330 千円	78.1 %
事業量 農業用排水	2,827 m	1,902 m	△925 m	67.3 %
農道	2,839 m	1,979 m	△860 m	62.0 %
ほ場整備	13.9 ha	11.2 ha	△2.7 ha	69.7 %
集落道	758 m	643 m	△115 m	84.8 %
地区数	24 地区	24 地区	—	100.0 %

地区数については計画の全地区において事業が実施されているものの、事業量における計画比は農道 62.0%、農業用排水 67.3%、ほ場整備 69.7%と 60%代が多くなっている。

一方で、事業費については計画比 78.1%が執行されており、当初予定されていた事業費で事業量が達成できるかが懸念される状況に見える。

#### <3> 施策の実施による成果(アウトカム)

農業用排水施設及び集落道等の整備により、営農労力の節減や集落内の環境改善等が図られた。

#### 【意見 7-1】成果の記載について

成果の記載が 2 行と簡略であるが、17 億 2 百万円を支出した成果（アウトカム）はもっと詳細な情報開示が適当と考える。

事業の進捗状況や目的達成状況は当然であるが、それと併せて、当初計画された事業費があれば成果の評価時においても計画時の事業量が実施可能かどうかなど今後の事業費予測結果、事業遂行上の課題が判明した場合には、それらの対応策等の記載を継続することが有効であると考ええる。

これについて、

- ・当該事業は複数地区で実施しており、成果では、国要領等に規定された工種毎に、全地区の計画及び実績をとりまとめて計上している。

- ・実施地区の具体的な取組内容及び効果等については、HP に地区事例を整理するなどその他各種方法により事業効果を公表している。
  - ・繰越等により進捗率が低くなっているが、繰越施工後は計画程度の実績が見込まれるため課題とは考えていない。
- との説明を受けたが、HP の詳細に記載している情報も含めて、成果（アウトカム）の記載は、県民にわかりやすい、成果として納得できるような記載方法を検討するのが適当である。

## VII-2 (33) 畑地帯総合農地整備事業(公共)＜地方創生関連事業＞

### ＜1＞施策の目的

畑地かんがいや区画整理、農道、農地保全等の基盤整備を総合的に実施するとともに、担い手への農地集積・集約化や土づくりの一環として土層改良を推進し、畑作農業経営の体質強化を図る。

### ＜2＞施策の実施状況(アウトプット)

計画に対する事業の実施状況は次のとおりである。

計画:①		実績:②		差額:②-①	計画比(%)
事業費	13,863,714 千円	9,798,301 千円		△1,237,361 千円	65.9 %
事業量					
畑かん	270.2 ha	236.7 ha		△33.5 ha	87.6 %
区画整理	45.2 ha	33.2 ha		△12.0 ha	62.0 %
土層改良	65.3 ha	65.3 ha		－	100.0 %
農道	10,150.7 m	8,352.1 m		△1,798.6 m	82.3 %
農地保全	2,460.0 m	1,952.5 m		△507.5 m	79.4 %
地区数	92 地区	92 地区		－	100.0 %

事業量において、土層改良は計画どおりの実績であるが、農地保全 79.4%、区画整理は 62.0%と計画との乖離が見られる。

### ＜3＞施策の実施による成果(アウトカム)

畑のほ場整備や畑地かんがい施設などの整備により、営農労力の節減や畑作農業経営の体質強化が図られた。

#### 【意見 7-1②】成果の記載について

前頁と同様に成果（アウトカム）はもっと詳細な情報開示が適当と考える。

これについて、

- ・以下【意見 7-1】と同じ。

## VII-3(34)経営体育成基盤整備事業(公共)＜地方創生関連事業＞

## ＜1＞施策の目的

経営体（担い手）の育成に資する水田のほ場整備を行い、中・大型機械の導入による高生産性農業の展開を図る。

## ＜2＞施策の実施状況（アウトプット）

計画に対する事業の実施状況は次のとおりである。

計画:①		実績:②	差額:②-①	計画比(%)
事業費	3,624,856 千円	2,387,495 千円	△1,237,361 千円	65.9 %
事業量 区画整理	75.1 ha	46.6 ha	△28.5 ha	62.0 %
地区数	23 地区	23 地区	－	100 %

事業量の計画比 62.0%は一般的に考えると低く、計画どおりの事業量が達成できていない状況が見られる。一方、事業費も同様に 60%代ではあるが、事業量に比較して 3.9%多い 65.9%の発生となっている。

計画されたすべての地区において事業は遂行されているが、進捗率は芳しくない。

## ＜3＞施策の実施による成果（アウトカム）

水田のほ場整備により、営農労力の節減や高生産性農業経営の展開が図られた。

## 【意見 7-1③】成果の記載について

前頁と同様に成果（アウトカム）はもっと詳細な情報開示が適切と考える。

これについて、

- ・当該事業は複数地区で実施しており、成果では、国要領等に規定された工種毎に、全地区の計画及び実績をとりまとめて計上している。
- ・実施地区の具体的な取組内容及び効果等については、HP に地区事例を整理するなどその他各種方法により事業効果を公表している。
- ・繰越等により進捗率が低くなっているが、繰越施工後は計画程度の実績が見込まれるため課題とは考えていない。

との説明を受けたが、HPの詳細に記載している情報も含めて、成果（アウトカム）の記載は、県民にわかりやすい、成果として納得できるような記載方法を検討するのが適切である。

また、目的とする高生産性農業の展開が可能となるためには、水田のほ場整備が完了する必要があるが、計画に対して事業量の進捗率は低い。

なお、これについて、進捗率は「繰越に起因するため、繰越施工後は計画程度の実績が見込まれるため、進捗率の遅れなどの課題とはとらえていない。」とのことであるが、計画と実績の差額については状況が判断できるような県民への情報提供が適切である。

## VIII 事業進捗状況の全般的検討

※出所：＜令和4及び5年度定期監査調書＞ 事業進捗状況調べ

(単位：百万円)

区分 事業名	全体計画 自 H16 年 度～至 R12 年度	令和3年度 までの実績		令和4年度の予定		令和4年度の実績		予定と実績の差額		残存事 業量
	金額	金額	進捗率	金額 ①	進捗率	金額 ②	進捗率	金額	実績率 ②/①	
経営体育成基盤整備事業 H25 年度～R12 年度	22,386	6,026	26.9%	3,160	41.0%	2,258	37.0%	△ 901	71.5%	11,087
県営中山間総合整備事業 H20 年度～R11 年度	23,000	10,128	44.0%	2,005	52.8%	1,620	51.1%	△ 384	80.8%	8,963
県営かんがい排水事業 H23 年度～R 元年度	1,411	1,389	98.5%	0	98.5%	0	98.5%	0	－	21
畑地帯総合農地整備事業 H16 年度～R12 年度	166,311	98,509	59.2%	11,564	66.2%	9,129	64.7%	△ 2,434	78.9%	47,296
農村環境保全整備事業 H27 年度から R5 年度	475	340	71.6%	127	98.5%	76	87.8%	△ 51	60.0%	0
県営農村振興等総合整備 事業 H19 年度～R6 年度	3,856	2,923	75.8%	93	78.2%	78	77.8%	△ 14	84.2%	701
団体営農村振興総合整備 等 統合補助事業 H17 年度～R7 年度	1,514	1,418	93.7%	31	95.8%	7	94.2%	△ 23	25.0%	65
団体営中山間総合整備事 業 H26 年度～R3 年度	1,015	604	59.6%	71	66.6%	31	62.7%	△ 40	44.4%	254
団体営基盤整備促進事業 H25 年度～R10 年度	4,844	2,236	46.2%	695	60.5%	375	53.9%	△ 319	54.0%	1,756
計	224,815	123,576	－	17,750	－	13,579	－	△ 4,170	76.5%	70,147

## 【意見 7-2】事業進捗状況の説明について

現状は事業予算金額に対する進捗率が記載されているが、数量的な進捗管理も重要となっている。

近年のように資材価格上昇や作業人員不足による人件費上昇が顕著な状況において、工事期間が数年にわたる場合には、価格上昇の影響を受けることから、同じ金額を支出(契約)したとしても従来のような数量的進捗が達成できない事態が生じる懸念がある。

これについては、

- ・ 県内で実施している農業農村整備事業の数量的進捗については、各地区単位で管理しているが、数量としては面積単位や延長単位など地区として様々である。また、機器単体等を整備する地区の場合、進捗率を表記することができない。このようなことから、事業単位で数量的進捗を表記することが困難である。
- ・ 主要工種である「畑地かんがい」や「区画整理」などは、毎年、目標に対する整備率として管理しているところである。

との説明を受けているところであるが、金額的進捗状況と同時に当初目的とした事業の数量的進捗状況も併せて記載した進捗状況を説明する工夫が必要ではないかと考える。